

学 報

Kobe College Bulletin

2025年 神戸女学院
創立150周年

150th
Bridging Generations

ISSN0389-164X

NO. 192

2021. 7. 13
神戸女学院
学報委員会

学長就任のご挨拶

学長 中野 敬一

このたび学長に就任いたしました。4月1日、学長就任式をソールチャペルで挙行していただきましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、学院・大学から限られた方々のみにご列席を賜りました。最初に、その折に申し上げた「就任の辞」を紹介させていただきます。

はじめに2期6年の間、学長としてご尽力くださった齊藤言子先生のお働きを覚え感謝を申し上げます。齊藤先生の労を神様が顧みてくださいますようにお祈り申し上げます。

さて、このたび、伝統と歴史ある神戸女学院大学の学長という大役を仰せつかりました。その重みを今ひしひしと感じております。昨年10月に学長に選任された折には、大変光栄なことだと思いましたが、正直に申しますと、どこか他人事のように思えて、それ以上の実感がありませんでした。

けれども、日を追うごとに事の重大さを認識しはじめ、不安が高まり、やがて恐れにも似たような感情を抱くようになりました。

とくに昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大という大きな事態が起こり、日常が大きく変化しました。大学もそれまでとは異なる教育方法を選択せざるをえず、しかも先行きが見通せない状況となりました。そのうえ、入学志願者の大幅減という事態が重なり、本学は大きな危機を迎えています。

そのただ中で学長に就任するということがいかに大変なことであるのか、周りの皆様からかけていただく言葉にも表れています。「本当に大変だと思いますが」「こんな時に…」といった内容のお言葉をこの数ヶ月間に何度伺ったことでしょうか。



幸いにも、次第に心が落ち着いてまいりました。もちろん大変な事態であることを認識してはおります。自分の能力から考えると力不足であることも承知しております。それにもかかわらず、今は前向きな気持ちでいっぱいなのです。それは祈りから与えられたものでした。

次期学長ということが決まってから祈ることが増えました。もとより、キリスト者として祈りをささげてきましたが、神戸女学院のことをおぼえて今まで以上に真剣に祈るようになりました。聖書の言葉からもあらためて励まされています。祈りと聖書の言葉は神を信頼するという一点に私を立ち返らせ、心の静けさを取り戻すことを可能にしてくれました。

また、150年を迎えようとする歴史において、創立以来この学院を守り導いてこられたのは神であるこ

と、その神がこの大学のために多くの働き人や支持者を備えてくださったことを思い起こさせてくれます。

人の予期せぬことは多々起こります。いつの時代においても、嵐の吹き荒れる局面があります。それでも神が望んでおられることは成就する。神が私たちに求めておられることに私たちが応えるとき未来が開かれる。この学院の歴史を通じてそのことが私たちに示されてきました。

神戸女学院大学は建学の精神に立ち、愛神愛隣の標語を掲げ、自らの人生を自分のためだけではなく、隣人のために用いることを望む人を世に送り出すという使命があります。このわざのために懸命に励むところに神の祝福が豊かに注がれる。皆様と共にこのことを信じて、知恵と力をあわせ、難局を乗り切っていきたいと願っています。

あわせて、私は「人に仕える」という姿勢を忘れないようにしたいと心に期しています。学生の皆さん、教職員の皆さん、そして出会う人々に仕えること、そのことをキリストは教えられました。

今週はキリスト教の暦で受難週と呼ばれる期間です。キリストの十字架における苦難を覚えながら過ごす週で、本日は「洗足木曜日」と呼ばれます。いわゆる「最後の晩餐」が行われた日で、食事の前にイエスが弟子の足を洗われました。足を洗う、それは自らを低くして他者に仕えるという姿勢です。主イエスは自らそれを手本として示されました。本日の就任の日が洗足木曜日と重なったことで、「仕えるものになりなさい」というメッセージをいただいたように思います。

ちなみに明日の金曜日は主イエスが十字架で命を絶たれたことを記念する日です。十字架の出来事は、希望が絶たれた、まさに絶望を表現しています。しかし、3日目の日曜日の朝、イエス・キリストは復活されたと聖書は記しています。

絶望の中にこそ、人の思いを超えて神の力が現れる。そのことをイエスの復活は示しています。いま、私たちに向けられた力強い励ましであると受け止めたく存じます。

私は、神戸女学院大学のために自らのすべてを用いて精一杯励んでまいります。そのことをここにお約束するとともに、皆様からのお支えをお願い申し上げます。どうぞよろしくお願ひいたします。

.....

就任式から2ヶ月が過ぎましたが、さらに責任の重さを実感する日々を過ごしています。とくに新型コロナウイルス感染症対応と大学の入学者減については頭から離れることがありません。

コロナが猛威を振るって大学の教育にも多大な影響を及ぼしてきたのはご承知の通りです。教職員は感染の不安を感じながら、学生と教職員の安全確保、授業の継続、緊急支援や奨学金を含めた様々な学生サポート、行事の中止や変更に伴う対応等に終始し、文字通りコロナに振り回された一年でした。

不安を抱えつつ新年度を迎えましたが、幸いなことに入学式を挙行し、4月中は対面授業を実施することができました。けれどもそれもつかの間、緊急事態宣言が発令された後は多くの授業が遠隔で行われています。別の変異株による感染拡大が懸念されて心配の種は尽きません。皆様と力をあわせて充実した教育研究活動の継続に努めたいと思っています。

志願者減に伴う入学者減の問題については、原因分析と新たな取り組みに関する検討を行っています。18歳人口の減少が続くなかで各大学は生き残りをかけた努力をしており、それに対抗しなければなりません。ただし、急いで実行すべきことと、じっくり検討して実行することを分けるべきだと考えています。特に後者の場合、これからの時代で何が必要になるかを真剣に探る作業は不可欠です。社会はかつてない勢いで急速に変化しています。いま必要なものが10年後どころか、5年後にもそうであるという保証は無く、社会の価値観が劇的に変化する可能性もあるのです。誤った舵取りは命取りになります。

このように先行き不透明の時代を歩む私たちであります。何のために本学が存在しているのか、その使命を神戸女学院大学に関わるすべての方々と共に共有して歩むことが大切であると心得ています。ミッションステートメントにおいて、「神戸女学院大学は、学ぶ者と働く者が共に学院標語『愛神愛隣』に基づくキリスト教の精神を分かち合い、時代の潮流に流されることなく、置かれた場で、利害を超え、自らの役割を感知し、果たし、人にとって真に大切なものを見分ける、共感性の高い人格への成長を目指します。」と掲げています。このような人物を世に派遣するという目的を忘れることなく教育・研究の営みを続けることが社会貢献となるように励んでまいりましょう。皆様あらためてよろしくお願ひいたします。

KCCだより

[コーベ・カレッジ・コーポレーション (Kobe College Corporation) は、1920年に神戸女学院のキャンパス移転の資金援助のため設立された、アメリカ合衆国イリノイ州を本拠地とする非営利団体 (NPO) です。以来、日米両国の学生生徒ならびに教員のためにさまざまな文化交流の機会を創出するなど、有形無形の力強い支援を行い、神戸女学院はその活動によって大きな恩恵を受けてきました。2004年、KCCはその活動範囲を拡大するために、名前の後に“Japan Education Exchange” という副称を付け加えて、通称 KCC-JEE となりました。今回は、KCC-JEE 理事である Angie Gasper 氏が寄稿してくださいました。そして KCC-JEE 理事であり、学院評議員でもある水野多美さんが和訳してくださいました。]

KCC-JEE 理事 Angie Gasper

I am coming up to my 15th year as a board member for Kobe College Corporation-Japan Education Exchange. My involvement with KCC-JEE, however, dates back even before that. My interest in the college and the organization started with Julia Dudley, one of the co-founders (along with Eliza Talcott) of Kobe College who is also my great-great-great aunt.

In 1993, I made my first journey to Japan to visit my sister who was teaching in Osaka. Much like Julia Dudley did, I fell in love with Japan. On that trip, along with visits to onsens, castles, museums and endless strolls, I have a memory that now seems quite comical.

My father casually mentioned one day that he thought his ancestor, a missionary from Illinois, 'may' have started 'some' college in Kobe. So on a day trip, we wandered around Kobe, looking for the college. Needless to say, we did not find the lovely Kobe College that day.

Fast forward to three years later, I was on a plane to Japan to start a new adventure. I worked in the small town of Usui-machi as an English Teacher and loved every second of my time there. When I am on my deathbed and I see my life flash before me in images, I'm certain one will be of me zipping

through the rice paddies on my scooter with the majestic herons taking flight, while elementary students chase me yelling, "Hello, Angela-Sensei!" Pure bliss!

During my time in Kyushu, I learned that Douglas Kinsey, my dad's first cousin and his wife Marjoie, had taught at Kobe College. They contacted me when they found out I was living in Japan. This was after the earthquake and there was a ceremony at Nishinomiya dedicating a new building named in honor of Julia Dudley which had been destroyed in the earthquake. They asked if I would like to attend the ribbon cutting ceremony. I happily agreed.

It was on that special day that I was introduced to Kobe College, Dr. Takenaka and members of a KCC-JEE delegation led by Pat Gottschalk and including current KCC-JEE president, Roberta Wollons. I had a memorable day learning about Julia Dudley and visiting the gorgeous campus; I was so honored to be a part of that visit.

Fast forward 13 years later and my dad's other cousin and I decided to drive across the United States in what we called a "Genealogy Drive" on our way to Maine where I grew up and was getting married that summer. We stopped in many places and took photographs, scoured records in archives, and visited graveyards in search of information about our ancestors.

While in Illinois, I stopped in unannounced at Rockford College, where Julia Dudley had attended and without an appointment, managed to find an employee who I'd met years ago when I'd visited the KC campus. He was able to get us into the archives and I found some information about Julia Dudley there. He then asked if I would be interested in serving on the KCC-JEE board. The rest is history!

I am forever grateful for my time with KCC-JEE and the people I have met over the years from KC and KCHS. I wonder what Julia Dudley would think of the fact that the school she put her heart and soul into, was thriving well over 100 years later and that one of her descendents was connected to it!

In 2015 I had the opportunity to take my two young children to visit Japan and Kobe College where we toured the campus and had lunch with the

President Mori. We even got to take a photograph with Julia Dudley's desk that had finally made its way back to its rightful place. While my young kids didn't appreciate it at the time, I am sure they will when they are older, and appreciate the fact that we are related to Julia Dudley, such an impressive woman, who along with her partner Ms. Talcott, were pioneers in womens' education in Japan.

KCC-JEE ボードメンバーとしての活動は15年目となります。私の関わりは、Eliza Talcott 女史と共に KC 創立者であった、私の大々叔母に当たる Julia Dudley にさかのぼります。

最初の日本への旅は、1993年に大阪で教師をしていた姉を訪問することでした。ジュリアと同じように私も日本が大好きになりました。温泉、お城、美術館、町歩きなど、今思えば楽しい思い出です。偶然にも、イリノイからの宣教師団であり、先祖に当たる人物が、神戸に「ある大学」を創めたに違いない、と父が話してくれました。そこで、大学探しのため神戸周辺を1日歩き回りましたが、この時は敬愛すべき神戸女学院を見つけることができませんでした。

3年後に、新しい冒険を始めるため日本への飛行機に乗っていました。確井町（現：福岡県嘉麻市）という小さな町で英語の先生として働き、そこでの人生を謳歌していました。

死ぬ間際に思い出す景色の一つになるだろうと思える、「アンジェラ先生、こんにちは！」と私を追っかけて叫んでいる小学生の子どもたち、スクーターで水田をすり抜ける私、堂々としたサギが飛び立つ姿が映る景色が浮かびます。

私の九州滞在中に、父の従兄に当たる Douglas Kinsey、奥様の Marjorie が神戸女学院で教えていることを知りました。私が日本滞在中であることを知り、彼らから連絡をいただきました。阪神・淡路大震災の後、西宮で行われる Julia Dudley に因んで名づけられた会館竣工の記念式典への案内でした。リボンカットへの参加をお誘いいただき、大喜びで参加しました。

この日は、特別な日となりました。竹中正夫先生、KCC-JEE の Pat Gottschalk 氏、現会長の Roberta Wollons 氏に会い、神戸女学院を紹介されました。Julia Dudley のことを学び、素晴らしい

キャンパス訪問した思い出深い一日でした。この式典に参加できたことは光栄でした。

それから、13年後に父方の従妹と一緒に「家系図探検」と名付けた大陸横断ドライブを計画し、生まれ育った、その夏に結婚予定のメイン州を目指しました。たくさんの場所を訪れ写真を撮り、先祖の情報収集の為に墓へも足を運び、記録を取っていきました。

イリノイ州で、Julia Dudley の母校、ロックフォード大学に立ち寄り、神戸女学院のキャンパスで会った方を見つけ出すことができました。文書保管庫へご案内いただき、Julia Dudley の情報を見つけることができました。そこで、この方から、KCC-JEE ボードへの参加に興味あるか尋ねられました。こうして始まりました。

神戸女学院、中高部で長年に渡りお会いした方々や KCC-JEE と関わってきた時間をずっと感謝しています。Julia Dudley が心血を注いだ学校が100年を超えても今も豊かに、子孫の一人に繋がっているという事実をどう思うかしら、と私は思いめぐらしています。

2015年に幼い子ども二人を連れて日本への旅行で神戸女学院を訪問してキャンパスツアー、森前院長と昼食をご一緒できました。やっとふさわしい場所に戻れた Julia Dudley の机と一緒に写真を撮ることができました。その時は幼い二人はつまらなそうでしたが、もう少し大きくなったら、Talcott 女史と共に日本での女子教育の開拓者であった、Julia Dudley という感動的な女性との繋がりを嬉しく思うことと信じています。（訳：水野 多美）



1997年 神戸女学院を訪問した KCC 所縁のメンバー
前列右端が筆者（Angie Gasper）
中央は神戸女学院第11代院長 城崎 進先生

神戸女学院教育振興会寄付金

神戸女学院教育振興会ホームページ
(スマートフォンにも対応しています)



神戸女学院教育振興会

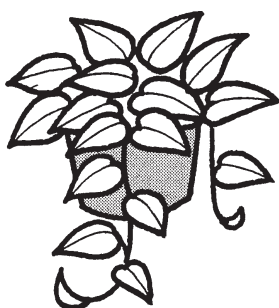


平素より神戸女学院教育振興会募金事業にご厚志ならびにご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年度は新型コロナウイルス感染症流行にともない、特にご指定のない限りご芳志の全額を「生徒・学生の支援」に充てることとし、下記の支援を行いましたのでご報告申し上げます。

- ・緊急支援給付金の支給
(大学・大学院生に一律5万円/人)
- ・下宿生・寮生を対象とする学修支援
(使途指定寄付により行いました)
- ・緊急支援奨学金制度の制定および給付
(大学・中高部)

上記とあわせ、めぐみ会様より「神戸女学院めぐみ会緊急支援奨学金」を制定いただき、学生・生徒に給付することができました旨申し添えます。



2020年度ご寄付実績

区 分	件数/冊数	金額(円)
同窓生	698件	21,583,350
在校生		0
保護者(大学・中高)	153件	7,872,000
役員(教職員を除く)	18件	1,190,000
教職員・旧教職員	86件	5,020,000
法人・団体	23件	6,274,605
一般有志	12件	12,680,001
金銭によるご寄付計	990件	54,619,956
古本募金によるご寄付	16,419冊	1,314,120
寄付金額合計		55,934,076

※複数の区分に該当する方は、事務処理上妥当と思われる区分を選択しております。

ご寄付をいただきました皆様、本当にありがとうございます。なお、ご寄付者芳名録は、8月にお届けする「2021年度ご寄付のお願い」に掲載しておりますのでご覧ください。

神戸女学院2020年度決算報告、 2021年度事業計画及び2021年度当初予算

2020年度に実施した事業の内容及び2021年度事業計画は、『2020年度事業報告書』に記載しております。以下の本学院ホームページをご覧ください。
<http://www.kobe-c.ac.jp/foundation/financial/index.html>
 また、当該ホームページ上では、決算書も公開しておりますので、併せてご参照ください。

I. 2020年度神戸女学院決算報告

1. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、①教育活動、②教育活動以外の経常的な活動、③その他の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を示し、すべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。2020年度の事業活動収支計算書の概要は以下の通りです。

(1) 教育活動収支差額

教育活動収入は、学校法人の本業である教育活動からの収入です。2020年度の教育活動収入は、50億44百万円で、前年度比95百万円の増加となりました。内訳をみますと、学生生徒等納付金41億33百万円は、ほぼ前年度並みです。2020年度から開始された高等教育の修学支援制度による授業料等減免費交付金90百万円の影響により、経常費等補助金5億43百万円は前年度比1億2百万円の増加となりました。寄付金80百万円は、奨学基金への寄付の増加により前年度比9百万円の増加となりました。一方、入学検定料の減少により手数料は68百万円で前年度比30百万円の減少、学生寮閉寮により付随事業収入は16百万円で前年度比47百万円の減少となりました。また、私立大学退職金財団等交付金の増加及び雇用調整助成金等により、雑収入は2億4百万円となり、前年度比61百万円の増加となりました。

教育活動支出は、学校法人の本業である教育活動に関する支出です。2020年度の教育活動支出は、51億2百万円で前年度比1億74百万円の増加となりました。内訳をみますと、人件費31億48百万円は前年度比50百万円の増加となりました。教育研究経費は16億27百万円で前年度比1億15百万円の増加となりました。これは、コロナ禍の中、原則遠隔授業の実施となったことにより、光熱水費や旅費交通費は減少したものの、緊急支援給付金1億26百万円、修学支援制度による学費減免額90百万円などにより、奨学費が2億78百万円と、前年度比2億41百万円の増加となったことによるものです。管理経費3億26百万

円は前年度比8百万円の増加となりました。

以上の結果、教育活動収支差額は58百万円の赤字となりました。前年度比では20百万円の黒字から78百万円の減少となっています。

(2) 経常収支差額

経常収支差額は、教育活動収支差額に主に財務活動の収支である教育活動外収支差額を加算した額です。2020年度の教育活動外収支差額は、金銭信託等の運用により25百万円の黒字となりました。その結果、経常収支差額は33百万円の赤字となり、前年度比では、1億5百万円の黒字から1億38百万円の減少となりました。

(3) 基本金組入前当年度収支差額

経常収支差額に特別収支差額3百万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、29百万円の赤字となり、前年度比では、1億42百万円の黒字から1億71百万円の減少となりました。

2020年度の基本金組入額合計は、20百万円で、隣地を取得した前年度に比較して4億76百万円の減少となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引いた当年度収支差額は、49百万円の赤字となり、前年度比では、3億54百万円の赤字から、3億5百万円の赤字幅縮小となりました。

2. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに支払資金(現預金)の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。事業活動収支計算書と資金収支計算書はその作成目的が異なるため、事業活動収支計算書では資金の出入りを伴わない項目も計上されますが、資金収支計算書では資金の出入りが反映されます。例えば、有価証券の売却を行った場合、事業活動収支計算書では、売却収入と有価証券の簿価(有価証券の取得価額)の差額が資産売却差額(または資産処分差額)として計上されますが、資金収支計算書では、売却収入額が計上されます。2020年度の資金収支計算書の概要は以下の通りです。

(1) 収入の部

以下、2020年度の資金収支の収入の部について説明しますが、事業活動収支計算書と重複する部分は、前述の事業活動収支計算書をご覧ください。

資産売却収入には、有価証券の売却収入2億円及び有価証券の償還収入2億円が計上されています。

事業活動収支計算書

(単位：百万円)

	科 目	本年度	本年度	前年度	増減	
		予算	決算(A)	決算(B)	(A)-(B)	
教育活動収支	事業活動 収入の部	学生生徒等納付金	4,131	4,133	4,133	1
		手数料	67	68	97	△ 30
		寄付金	72	80	72	9
		経常費等補助金	518	543	441	102
		付随事業収入	16	16	63	△ 47
	雑収入	193	204	143	61	
	教育活動収入計	4,997	5,044	4,949	95	
	事業活動 支出の部	人件費	3,154	3,148	3,098	50
		教育研究経費	1,665	1,627	1,512	115
		管理経費	313	326	318	8
徴収不能額等		2	1	1	0	
教育活動支出計		5,134	5,102	4,929	174	
教育活動収支差額	△ 137	△ 58	20	△ 78		
教育活動外収支	事業活動 収入の部	受取利息・配当金	26	26	86	△ 59
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0
		教育活動外収入計	26	26	86	△ 59
	事業活動 支出の部	借入金等利息	1	1	1	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0
		教育活動外支出計	1	1	1	0
教育活動外収支差額	25	25	85	△ 59		
経常収支差額	△ 112	△ 33	105	△ 138		
特別収支	事業活動 収入の部	資産売却差額	0	0	14	△ 14
		その他の特別収入	14	14	33	△ 19
		特別収入計	14	14	47	△ 33
	事業活動 支出の部	資産処分差額	8	11	10	0
		その他の特別支出	0	0	0	0
		特別支出計	8	11	10	1
特別収支差額	6	3	37	△ 34		
基本金組入前当年度収支差額	△ 106	△ 29	142	△ 171		
基本金組入額合計	△ 34	△ 20	△ 496	476		
当年度収支差額	△ 140	△ 49	△ 354	305		
前年度繰越収支差額	△ 1,652	△ 1,652	△ 1,299	△ 353		
基本金取崩額	123	115	0	115		
翌年度繰越収支差額	△ 1,670	△ 1,587	△ 1,652	66		
(参考)						
事業活動収入計	5,037	5,085	5,082	3		
事業活動支出計	5,143	5,114	4,940	174		

資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部				
科 目	本年度	本年度	前年度	増減
	予算	決算(A)	決算(B)	(A)-(B)
学生生徒等納付金収入	4,131	4,133	4,133	1
手数料収入	67	68	97	△ 30
寄付金収入	72	80	71	8
補助金収入	532	556	469	87
資産売却収入	400	400	421	△ 21
付随事業・収益事業収入	16	16	63	△ 47
受取利息・配当金収入	26	26	86	△ 59
雑収入	193	204	127	77
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	671	559	682	△ 123
その他の収入	208	1,585	2,110	△ 526
資金収入調整勘定	△ 818	△ 836	△ 777	△ 59
前年度繰越支払資金	3,347	3,347	3,118	229
収入の部合計	8,845	10,138	10,601	△ 463
(参考)				
収入の部合計-前年度繰越支払資金	5,499	6,791	7,483	△ 692
支出の部				
科 目	本年度	本年度	前年度	増減
	予算	決算(A)	決算(B)	(A)-(B)
人件費支出	3,147	3,144	3,094	50
教育研究経費支出	1,345	1,307	1,188	119
管理経費支出	287	300	290	9
借入金等利息支出	1	1	1	0
借入金等返済支出	13	13	13	0
施設関係支出	60	57	414	△ 357
設備関係支出	102	96	85	12
資産運用支出	215	1,601	2,102	△ 501
その他の支出	126	128	196	△ 68
資金支出調整勘定	△ 121	△ 172	△ 129	△ 44
翌年度繰越支払資金	3,671	3,663	3,347	317
支出の部合計	8,845	10,138	10,601	△ 463
(参考)				
支出の部合計-翌年度繰越支払資金	5,175	6,475	7,254	△ 780

借入金等収入は2020年度もありませんでした。前受金収入は、新入生の減少により、5億59百万円となり、前年度比1億23百万円の減少となりました。また、その他の収入は、退職給与引当特定資産の振替に伴う特定資産取崩収入13億96百万円を中心に15億85百万円となり、前年度比5億26百万円の減少となりました。

前期末前受金及び期末未収入金（資金収入調整勘定）を控除し、前年度繰越支払資金を加算した収入の部合計は、101億38百万円となり、前年度比では4億63百万円の減少となっています。

(2) 支出の部

次に、2020年度の支出の部について説明します。収入の部同様に、事業活動収支計算書と重複する部

分は、前述の事業活動収支計算書をご覧ください。

借入金等返済支出は、約定返済により、2020年度も前年度と同額の13百万円となりました。施設関係支出は、既存施設の改修工事等を中心に57百万円となり、隣地を取得した前年度比で3億57百万円の減少となりました。設備関係支出は、証明書発行機の新規購入等により96百万円となり、前年度比では12百万円の増加となっています。資産運用支出は、退職給与引当特定資産の資産の振替に伴う繰入支出14億円、及び有価証券購入支出2億円を含む16億1百万円となり、前年度比では5億1百万円の減少となりました。前期末前払金及び期末未払金（資金支出調整勘定）を控除し、翌年度繰越支払資金を加算した支出の部合計は、101億38百万円で、前年度比では4億63百万円の減少となりました。

3. 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末の財政状態（運用形態と調達源泉）を明らかにするものです。

2020年度の貸借対照表の概要は次の通りです。

(1) 資産の部

2020年度末の固定資産は、149億14百万円となり、前年度比5億27百万円の減少となりました。前年度比減少の要因は、主に、固定資産の減価償却3億46百万円のほか、第3号基本金取崩に伴う第3号基本金引当特定資産の取崩1億5百万円、有価証券2億円の満期償還によるものです。

2020年度末の流動資産は38億30百万円となり、前年度比では、現金預金の増加を中心に、4億8百万円の増加となりました。

2020年度末の資産の部合計は、187億44百万円で、前年度比1億18百万円の減少となりました。

(2) 負債の部

2020年度末の固定負債は、15億73百万円となり、前年度比9百万円の減少となりました。これは、主に、私立学校振興・共済事業団からの長期借入金が約定返済により13百万円の減少となったことによるものです。

2020年度末の流動負債は、8億62百万円となり、前年度比80百万円の減少となりました。これは、主に、新入生の減少により、前受金が前年度より1億23百万円減少し、5億59百万円となったことによるものです。

2020年度末の負債の部合計は、24億36百万円となり、前年度比89百万円の減少となりました。

(3) 純資産の部

2020年度末の基本金は、178億95百万円となり、前年度比95百万円の減少となりました。前年度比減少の要因は、第1号基本金*が10百万円増加したものの、クローバー奨学基金の取崩により第3号基本金**が1億5百万円減少したことによるものです。

2020年度末の繰越収支差額は△15億87百万円となり、前年度比で、事業活動収支における当年度収支差額（△49百万円）と基本金取崩額（1億15百万円）の合計額相当額分（66百万円）、マイナス幅が縮小しております。

* 第1号基本金は、学校法人が設立当初に取得した教育の用に供される固定資産及び教育の充実に向上のために取得した固定資産の価額となっています。

** 第3号基本金は、基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額となっています。

貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			
科 目	本年度末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
固定資産	14,914	15,440	△ 527
有形固定資産	8,415	8,605	△ 190
土地建物	1,692	1,692	0
構築物	3,765	3,912	△ 147
教育研究用機器備品	421	450	△ 29
管理用機器備品	427	456	△ 30
図書	35	29	6
車	2,075	2,065	10
	1	1	0
特定資産	6,345	6,445	△ 100
第3号基本金引当特定資産	1,603	1,708	△ 105
退職給与引当特定資産	1,429	1,425	4
減価償却引当特定資産	3,137	3,137	0
岡田山建築保存引当特定資産	176	176	1
その他の固定資産	153	390	△ 237
電話加入権	4	4	0
ソフトウェア	19	32	△ 13
有価証券	0	200	△ 200
差入保証金	4	4	0
貸与資金	21	21	0
奨学金	105	129	△ 24
その他	0	0	0
流動資産	3,830	3,422	408
現金預金	3,644	3,328	316
修学旅行費預り金	19	19	1
未収入金	155	60	94
前払金	12	14	△ 2
資産の部合計	18,744	18,862	△ 118

負債の部			
科 目	本年度末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
固定負債	1,573	1,582	△ 9
長期借入金	144	157	△ 13
退職給与引当金	1,429	1,425	4
流動負債	862	942	△ 80
短期借入金	13	13	0
未払金	162	118	44
前受り金	559	682	△ 123
預り金	109	111	△ 2
修学旅行費預り金	19	19	1
負債の部合計	2,436	2,524	△ 89

純資産の部			
科 目	本年度末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
基本金	17,895	17,990	△ 95
第1号基本金	15,938	15,928	10
第3号基本金	1,603	1,708	△ 105
第4号基本金	354	354	0
繰越収支差額	△1,587	△1,652	66
翌年度繰越収支差額	△1,587	△1,652	66
純資産の部合計	16,308	16,338	△ 29

負債及び純資産の部合計	18,744	18,862	△ 118
-------------	--------	--------	-------

II. 2021年度事業計画（2021年3月24日 理事会承認）

1. 大学

・コロナ禍にあって大学での教育活動の形態が大きく変わろうとしている中、学修者に寄り添うことを目的としたオンライン授業体制について強化を進めていきます。また2020年度で完成を迎えた新カリキュラムを検証し、本学の教育の柱の一つであるリベラルアーツ教育の充実をはかるとともに、受験生や社会に本学の教育活動をわかりやすく伝えることができるよう入試広報に力を入れます。

(1) リベラルアーツ教育の充実と応用

・2017年度から施行し2020年度に完成を迎えた新カリキュラムについて効果検証し、更なるリベラルアーツ教育の充実に努めます。

(2) 学修環境、学修支援環境の充実

・新型コロナウイルス感染症対応を含むIT環境整備推進のためITリプレースを行い、ウィズコロナ、アフターコロナにおける持続性の高い教育体制を整備します。

・既存の支援に加え、コロナ禍で経済的に困難な中にある2021年度入学者に対し、緊急特別奨学金を設置します。

・第三体育館クラブ室にエアコン設置を行い、全クラブ室のエアコン設置を完了します。

(3) 広報体制の強化

・受験生に本学がより見えやすい形になるよう入試広報・大学広報の在り方を立案し、実践します。

・2020年度に収集した情報を新たなサウンドメディアとして公開し、学生・保護者のほか、受験生や社会にわかりやすい「本学の今」を発信します。

(4) 入学志願者数の確保

・入学者・非入学者アンケートを実施し、2021年度入試結果について検証します。受験生及び社会にわかりやすい本学についての情報を再可視化することで、入学志願者数の回復・増加に繋がります。

(5) IR機能の促進・強化

・教育の可視化、情報の透明化をさらに進め、IR体制を整備します。既存のIR情報をまとめたデータブックを作成し広報することで、本学に対する具体性を伴った認知に繋がります。

(6) グローバル時代への対応

・新たに設定した国際化ビジョンのもと、本学初となるアフリカ地域における大学間交流を、オンラインツール等の活用を含め進めていきます。

(7) SDGsを見据えた社会貢献・地域連携の強化

・2020年度から参画したダイバーシティ研究環境実現イニシアティブと関西SDGsプラットフォームのもと、地域、社会との連携を推進していきます。

(8) キャリア・サポート体制の充実

・コロナ禍でのキャリア支援として、対面とオンラインを併用した支援体制を再度整備します。特に直接企業を知る機会が減った現状を外部団体の協力も得て増やし、電話等での学生個々の支援も強化します。

(9) その他

・2025年の学院150周年に向けて学院とともに計画を進めていきます。

・2022年度に大学基準協会認証評価受審のため、必要資料収集、報告書の作成を行います。

2. 中高部

(1) 1クラス40人以下教育体制の検討

・1クラス40人以下の教育体制を整えるのに必要なことを整理し、検討委員会を立ち上げ対応策を検討します。

(2) 特別支援への対応強化

・保健室別室に特別支援に対応できる人を1名配置し、今後必要なことを検討します。

(3) ITを用いた実験授業の積極的な実践

・IT環境の実験年と位置づけ、積極的に実験授業を実施し、報告書をまとめます。

(4) クラブコーチ制への移行の検討

・クラブコーチ制導入、利用のための条件を整理します。

(5) 修学環境の整備

・葆光館空調システムの各教室内の吹出装置を改善するほか、中学部ロッカーを入れ替えます。

(6) 新カリキュラム関係

・新カリキュラム案の作成を行います。

3. 法人

(1) 創立150周年関係

・2025年の創立150周年に向け、昨年度策定したメッセージ及びロゴマークの学内外への浸透に向けた取組みを計画します。

・創立150周年特設WEBサイトを活用した様々な情報発信を計画します。

(2) 法人運営関係

・災害時に備え、学内事業者との連携強化及び各建物に防災グッズの配備を順次進めます。

(3) 経理・財務関係

・2021年度は、ITリプレースに伴い収支の赤字が不可避であるので、経費支出の一層の適正な管理を行い、赤字幅の縮小に努めます。

・低金利下、金融資産運用での利子・配当収入確保は一段と難しくなっていますが、引き続きリスクを最小限にした慎重な金融資産運用を行います。

- ・創立150周年に向けた事業を行うにあたり、使用可能な資金額について、学院の将来への備えも十分に視野に入れた検討を行います。
- ・2020年度は検討が進まなかった旅費規程の見直し作業を進め、旅費関連事務の標準化を図ります。

(4) 施設関係

①キャンパス再整備マスタープラン関係

- ・2021年5月に「キャンパス再整備マスタープラン」が提出された後、施設建築に対するニーズを再度確認し、理事会も含めた関係部署とも密接に意見交換を行い、創立150周年に向けての具体的事業計画についての検討を進めます。

②学院施設の充実

- ・豪雨時に漏水が生じる新社交館の経年劣化した屋上の防水層を全面改修します。
- ・講堂の舞台装置のうち設置後40年以上経過する吊り物機構を安全機能付き機器に更新、またホリゾン幕とスクリーン、ウインチも併せて更新します。
- ・精密点検において動作不良が判明した学生寮系統のキュービクル高圧機器を予防保全の観点から更新します。
- ・機器不良が生じる都度、真空引き等の修理対応で運転を維持している理学館、音楽館（音楽学部1号館）の空調熱源（冷温水発生器）を更新します。
- ・火災予防の取組として、設置後20～30年が経過する自動火災報知設備の更新を進めます。また茶室「松風庵」は貴重な木造建造物であることから自動火災報知設備を自主設置します。
- ・学内各所のパッケージ式エアコンのうち、設置後20年が経過した機器について予防保全と性能向上による省エネルギーの観点から更新を進めます。
- ・総務館理事室にWifi設備を導入し、オンライン対応と会議のペーパーレス化促進のための環境を整えます。
- ・正門南西脇の通用口のセキュリティ強化のために既存の低い門扉を改修します。その際、神戸山本通時代の学院北門の門柱（古材）を活用することで歴史の継承を図ります。
- ・イライザ・タルカット記念館の外装改修は2017年度から順次、各面の壁とサッシ等の補修を行ってまいりましたが、最後に東面の補修を行うことで一連の計画を終了します。
- ・院長公舎建物を解体し、敷地として有効活用できるように環境整備します。
- ・キャンパス東エリアの空地（宅地跡地）を活用できるよう整備します。
- ・順次実施している外灯（水銀灯）のLED化を引き続き進めます。

③重要文化財保存活用関係

- ・社交館の経年劣化した屋上防水層の全面改修を行

い、豪雨時に漏水が生じないように予防保全による維持管理を行います。

- ・理学館は豪雨時に小屋裏内に漏水被害が生じ木部の腐朽が懸念されるため、代表的な箇所について、瓦の下地状況を確認しながら試験施工として先行修理を行います。なお、本修理は2025年度までの継続事業を予定しています。
- ・2021年2月に文化庁の認定済みの重要文化財神戸女学院（建造物）保存活用計画（2020年3月改訂版）について製本版を作成します。

Ⅲ. 2021年度予算書

2021年度事業活動収支予算書の概要は以下の通りです。

事業活動収支予算書（単位：百万円）

		科 目	金 額
教育活動収支	事業活動 収入の部	学生生徒等納付金	4,040
		手数料	85
		寄付金	67
		経常費等補助金	509
		付随事業収入	62
		雑収入	219
		教育活動収入計	4,982
	事業活動 支出の部	人件費	3,193
		教育研究経費	1,732
		管理経費	321
徴収不能額等		2	
	教育活動支出計	5,247	
	教育活動収支差額	△ 265	
教育活動外収支	事業活動 収入の部	受取利息・配当金	25
		教育活動外収入計	25
	事業活動 支出の部	借入金等利息	1
		教育活動外支出計	1
		教育活動外収支差額	24
		經常収支差額	△ 242
特別収支	事業活動 収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	事業活動 支出の部	資産処分差額	8
		その他の特別支出	0
		特別支出計	8
	特別収支差額	△ 8	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 249	
	基本金組入額合計	△ 240	
	当年度収支差額	△ 489	
	前年度繰越収支差額	△1,670	
	翌年度繰越収支差額	△2,159	
	(参考)		
	事業活動収入計	5,007	
	事業活動支出計	5,256	

史料室の窓(54)

愛校バザー110周年

神戸女学院史料室 佐伯 裕加恵

2021年は愛校バザー開始110周年の記念の年にあたります。1911年5月22日、同窓会（現・めぐみ会）主催で創立者記念日の祝典の後にバザーが開催されたのが「愛校バザー」の始まりです。残念ながら第1回の詳しい記録は残っていませんが、翌年の記録によると、お汁粉、紅茶、アイスクリームを売っていたとあります。業者も入って陶器が売られていたということなので、当時としてはかなりハイカラで盛大な催しだったのではないのでしょうか。

1918年から学校と同窓生が一体となって開催する現在の「愛校バザー」の形になっていきます。ダンスやピアノ演奏等の余興が企画され、入場券を売るようになります。余興には自治会員、つまり在校生が参加・奉仕してくれたとあります。

ではその時の様子を見てみましょう。5月29日午前11時、開始。正門には入場券受付が設けられ、そこかしこに広告のピラが貼られています。文房具、雑貨、玩具、手作り品、寄贈品、雑穀干物を扱う店等に加えて飲食店など計20ほどの売店が立ち並んでいます。飲食店ではお汁粉、お寿司、アイスクリーム、ドーナツ、コーヒー、サイダーなどが売られています。最も多くの客を集めたのはやはり飲食店で、早くから売り切れが出ます。次に人気だったのは寄贈品の店、雑穀干物店も大繁盛だったようです。お汁粉、お寿司はこのあと愛校バザーの名物になっていきます。講堂での催し物も大好評で「立錐の余地なき人の群れ」が押し寄せたとか。

名物となったお寿司はバザー当日の朝、学校で調理されました。「午前8時、私たちは先刻からお寿司を混ぜるのに大忙しである。新米の料理人の集りで手許は大分危い。しかしこの中には溢れる様な私達の愛校心が一杯詰め込んであるのだ。」(1931年7月発行『めぐみ』第18号)この時使われていた寿司桶が現存します。「昭和2年」と書かれたその寿司桶にも「愛校心が一杯」詰め込まれています。

関東大震災が起きた1923年には、被害にあった共立女学校の同窓生が神戸女学院のバザーに「母校復興の爲」という願いと共に食物屋を出店したそうです。バザーは単なる物品の売買ではなく、人と人の心をつなぐ集まりだったのです。

1932年、旧キャンパスでの最後のバザーは雨でした。雨天にもかかわらず、かえって多くの人々が来訪し、援助してくれたといえます。「精神的にも充分



1922年の愛校バザー

に『愛校バザー』の目的を達する」(1932年7月発行『めぐみ』第20号)と記録にあります。

岡田山キャンパス移転後最初のバザーは1934年5月19日に開催されました。売店配置図によるとグラウンドや中庭は使わず講堂前広場を中心に葆光館(中高部本館)周辺に店を設置しています。今と比べるとかなりコンパクトな規模です。この年の入場券は、神戸から移転したということもあって、電車・バスの割引乗車購入券付きでした。また新キャンパス献堂式出席のため、引退帰米していた名誉院長ソール先生(Miss Susan Annette Searle)が来日中であつたので、新キャンパスでのバザーを披露できて、同窓生の喜びはひとしおでした。

こうして岡田山での愛校バザーは始まり、今へとつながっているのです。最後に「神戸女学院にとっての愛校バザーとは？」という問いに、私たちの大先輩方に答えてもらいましょう。

「初めて女学院のバザーに来た方には其華かさ其盛大さに驚かれるだろうが、私達にとってバザーは遊び事ではなくして多くの學校を愛する人達の清い愛校心の現れである、私達は此の意味でバザーをもっともっと盛んにし清い美しいものになりたいと思う。」(1927年7月発行『めぐみ』第10号)「さすが女学院のバザーは模範的だという。何がそうさせたのか。我が學院の發展を御意とし給ふて日一日と榮えに導き給ふ神の御恵み、その大いなる愛に勵まされて手を空しうしては居られない神戸女學院スピリットの表現で無くて何であらう。」(1930年7月発行『めぐみ』第16号)

「キャンパスお気に入りの場所」に代わり「事務室探訪」の連載を開始します。

<事務室探訪>

「遠いようで近い存在」総務課

新連載のトップバッターとして、総務課の仕事をご紹介します。

世の中のほとんどの会社や役所（もちろん学校も）には「総務」という部門がありますが、どんな仕事かイメージを持ちにくいのではないのでしょうか。

大まかには「学院の経営・学校運営全般と人事に関わる仕事」を担っています。

具体的には学院の憲法に相当する「寄附行為」に則り、経営・業務に関わるルールを起案・集約し、学院としての意思決定（理事会）をサポートすること、教職員の採用・就業と給与支払いなどの業務を主に、学生・生徒の皆さんに関係する部分では、食堂・購買・コンビニ等の管理（食堂の感染防止用パーティションの設置も総務課が対応しました）、学院カレンダーや学報の発行、講堂や社交館の利用予約など幅広い仕事を通じて、学院とそれに連なる学生・生徒の皆さんや教職員を支えています。

その他、意外な仕事としては（今は中断していますが）映画・ドラマ・CM撮影などの施設貸出の窓口も総務課になっており、撮影を間近で見たりタレントさんと言葉を交わしたりという特権（!?）も味わっています。

このように、「遠いようで近い存在」として学生・生徒の皆さんの学校生活に少しでも役立てるよう努めています。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

（総務課）



重要文化財見学会も総務課の仕事です

「コロナ禍の事務室から」文学部事務室

今回から始まりました事務室探訪のコーナーです。第一回目は、本学で学生数の最も多い文学部の事務室を探訪したいと思います。

Q：こんにちは！よろしくお願いします。学生が事務室に入るのは、パソコンやゼミ資料等の印刷用コピーカードを借りるときなどですが、普段はどのようなお仕事をされているのですか。

A：こちらこそ、よろしくお願いします。カリキュラム、履修関係や行事等の学科、研究科の運営に関しては、先生方の会議で検討して進めていますので、その調整や資料作成なども仕事の大きな部分を占めています。また、先生方の教育研究用の図書や物品購入、研究旅費の精算などに割く時間も多いです。みなさんに分かりやすいものでは、学科・研究科のホームページやSNS（英文学科）の運営があります。

Q：新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度と今年度は途中から、オンライン中心の授業になりましたが、事務室の仕事に影響はありますか。

A：先生方のオンライン授業への対応は本当に大変なのですが、事務室も例年になく対応が求められています。卒業式、入学式ともに挙行できなかった昨年は、学位記や履修資料の郵送に始まり、新入生へは手分けして電話連絡することも度々ありました。今年度も履修登録や授業形態なども引き続き例年とは違う対応が必要になっています。また、学生や先生方ともにメールなどによる照会対応やオンライン授業ツールに関する問い合わせも数多く発生しています。オンライン特有ですが、先生と連絡が取れないという学生（先生からのケースも）への対応も度々あります。

Q：私たちが普段目にしないお仕事の話も何うことができました。ありがとうございました。

（文学部事務室事務長）



事務室も換気中。上の窓の開き方に注目！

大学報告

キャリアデザインプログラムを受講して

文学部 総合文化学科 4年生

東日本大震災から10年、本学も被害を受けた阪神淡路大震災から26年が経ちました。それ以外にも日本全国で毎年多くの方が自然災害による被害を受けています。こうした実情や近年のコロナ禍での現状も踏まえ、私たちは上念省三先生ご指導のもと「繋ぐ」というテーマで一つの映像作品を制作しました。

毎年、アート・マネジメントコースでは舞台やワークショップを開催していましたが、2020年度はコロナ禍の影響でこれらの企画はできませんでした。さらに、授業をほぼ遠隔で行っていたため、受講生全員が集まって作業することも難しい状況でした。しかし、このような時だからこそできることはないかと受講生全員で考えた結果、各々が撮影した映像を繋ぎ合わせるという形で動画を制作することになりました。そして映像を通して、各地で授業を受けている受講生の想いを繋ぎ、震災の記憶も繋いでいくというメッセージを込めた作品が完成しました。

制作にあたり、被災経験のない人間が震災に関わる作品を作るということについては慎重に議論を重ねました。また、このコースの受講を通して、従来通りの劇場公演ができない現状に、コロナ禍における芸術のあり方を考えるきっかけにもなりました。

最後に、上念先生をはじめ、動画内で引用した書籍の著者の皆様、ピアノ演奏を引き受けてくださった渡部里紗様、動画制作に協力してくださった神戸女学院大学の職員の方々に深く感謝申し上げます。



動画撮影時の様子

Zoom講演会（卒業生）久山葉子さん 「翻訳の仕事」

1月18日に本学中高大卒業生で翻訳家の久山葉子さんをお迎えし、オンライン講演会「翻訳の仕事—異文化を日本に伝える」を開催しました。久山さんは現在スウェーデン在住で、数々のスウェーデン小説やノンフィクションを日本語に翻訳、自らのスウェーデンでの経験を綴ったエッセイも出版されています。最近話題のアンデシュ・ハンセン著『スマホ脳』も、久山さんの翻訳により2020年11月に日本で出版されると瞬く間にベストセラーとなりました。

講演会では翻訳の仕事の流れや仕事への思い、また大学卒業からスウェーデン移住に至った経緯などについてお話いただきました。中高部在学中のスウェーデン留学を経て大学英文学科ではクロスカルチャー文学を学び、卒業後は北欧関連企業等で働いたのち、子育て環境を求めスウェーデンへの移住を決意。男女とも就労が当たり前で、それを後押しするのがスウェーデンの充実した社会制度。久山さんがスウェーデン語の本を日本の出版社に紹介するところから翻訳本が出るまでには約1年の時間が掛かります。数ヶ月に1冊の翻訳本をコンスタントに出版する久山さんの手元ではいつも数冊の原稿が同時進行。さらに現地高校で日本語教師もされている久山さんはいつも大忙しながら、その全てが久山さん流「異文化を日本に伝える仕事」であるというのが印象的です。

講演会では、本学英文学科で翻訳を教えているSusan E. JONES准教授との対談、また久山さんと本学で同級生だった南出が司会を務めました。講演録画は英文学科YouTubeサイトから視聴できます。

(英文学科准教授 南出 和余)



オンライン講演会での久山葉子さん

ようこそ！西宮浜まちじゅうミュージアム

特色プログラム「地域創りリーダー養成プログラム」では、西宮市教育委員会の要請を受けて、2018年から市南部の西宮浜で街の活性化をめざす活動を行っています。西宮浜では、地元有志からなる西宮浜観光社（石原敏孝代表）により、街の歴史やアートなどを紹介するイベント「西宮浜まちじゅうミュージアム」が毎年開催されています。今年は新型コロナウイルスの影響で市中でのイベントは自粛し、オンラインでの開催をめざしてきましたが、当プログラムの13期生西宮浜班はこのイベントの企画、動画制作、運営に関わってきました。オンラインで行われた、アート作品紹介動画「ようこそ！西宮浜まちじゅうミュージアム」の公開記念イベント（3月7日開催）には、アートを制作された5名の彫刻家の先生方をはじめ、石井登志郎西宮市長など約40名の市民、関係者らが集いました。彫刻家の先生方からは制作当時の貴重なエピソードなどが披露され、街の歴史への理解が深まりました。西宮浜班のメンバーも司会、進行、参加者クイズなどを担当してイベントを盛り上げました。主催者と学生たちによる息の合った進行によって、楽しくも有意義なイベントとなりました。動画「ようこそ！西宮浜まちじゅうミュージアム」は3月24日にYouTubeで一般公開され、西宮浜に数多くのアートが置かれることになった経緯や、それらのアートをビジュアルで紹介する魅力的な内容となっており、班のメンバーも一部出演しています。

（環境・バイオサイエンス学科教授 野寄 玲児）



西宮浜班とイベント会場の西宮市貝類館

大阪アジア映画祭 「竹で稼ぐ男たち」字幕制作

英文学科では昨年より大阪アジア映画祭に協賛し、同映画祭で上映される映画に有志の学生たちで日本語字幕を制作、さらに映画祭との共催で公開シンポジウムを開催する取り組みを行っています。2021年3月に開催された第16回大阪アジア映画祭では Bangladesh のドキュメンタリー映画『竹で稼ぐ男たち』（シャヒーン・ディール・リアズ監督）を上映、31名の学生と Susan E. JONES 准教授と南出で日本語字幕を制作しました。コロナ禍で全てオンライン Zoom での作業となりましたが、2名ずつペアでの作業に加えて、昨年の経験者3名がチェック係を担うなどし、議論を重ねて丁寧に字幕を付けました。感染予防のための緊急事態宣言の映画祭への影響が懸念されましたが、幸い予定通り開催され、『竹で稼ぐ男たち』はほぼ満席の観客を迎えて上映されました。また、同日夜にはドイツ在住の監督と Bangladesh 在住の同映画音響担当者と日本を繋いでのオンラインシンポジウム「『竹で稼ぐ男たち』のストーリー」を開催しました。シンポジウムでは本学大学院文学研究科の大学院生が日英通訳を担いました。

この映画字幕制作の取り組みは学生たちに好評で、多くの参加希望者が集まっています。限られた文字数でいかに正確かつ自然な表現に訳すかという英語能力に加えて、映画を通して Bangladesh をはじめグローバル社会を知ることにも繋がる、本学英文学科らしい学びの機会となっています。

（英文学科准教授 南出 和余）



Zoom での字幕制作にシャヒーン監督を招いて（左上）

第2回ひょうごユースecoフォーラムに参加して

大学院 人間科学研究科 2年生

2020年12月25日に開催された兵庫県主催「第2回ひょうごユースecoフォーラム」において、企画委員として参加させていただきました。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、残念ながら一堂に会しての開催は叶わず、兵庫県のホームページ上でのオンデマンド開催となりました。フォーラムの内容は以下のURLアドレスで閲覧可能です。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/2020youtheco.html>

この中で、私は少しでも多くの方々に環境問題について興味を持ってもらえるよう、オープニングメッセージとして、人間が生活利便を追求するあまり加速させている様々な環境問題とそれを改善するために今からできる私たちの行動など、持続可能な開発目標“SDGs”を考えるきっかけについてお話しさせていただきました。また具体的な研究室での研究活動である「兵庫県南部に生息する野生メダカの遺伝子分布及び遺伝子かく乱について」についての紹介も行いました。

今回、企画委員として参加させていただき、同じ企画委員の高校生の発表にも大いに刺激を受けましたし、また、改めて自身が行う研究内容を見つめ直すきっかけとなり、より良い研究成果を残したいと強く思いました。

次回、第3回ひょうごユースecoフォーラムは、参加者が顔を突き合わせながら議論ができることを心から願っております。



掲載されているオープニングメッセージ

「音楽×福祉」スミリンケアライフ社との産学連携

2020年2月に本学は、老人ホームや在宅介護サービスの企画・運営を行う住友林業グループのスミリンケアライフ株式会社と産学連携協定を締結しました。

協定の内容は、同社が2020年5月に西宮市に開設したサービス付き高齢者住宅「エレガーノ西宮」で、音楽学部と音楽研究科の学生、卒業生及び教員が年度ごとに、学生によるコンサートと入居者交流会を6回、七夕もしくはクリスマスに行う卒業生によるコンサートを1回、教員による音楽関連の講座を1回実践する取り組みです。本学と同社が音楽と福祉の分野で相互連携し、入居者の生活の質向上と学生たちの人格形成及び演奏家としての飛躍を支援することで地元西宮市の高齢福祉・人材育成・芸術文化の発展に寄与することを目的とします。

昨年度はコロナ禍で12月19日の弦楽合奏によるクリスマスコンサート1回のみで開催となりました。しかし、外出自粛を余儀なくされた入居者の皆様には久しぶりに生演奏を聴く機会となり「良いクリスマスを迎えられた」と大変お喜びいただきました。今年度は感染対策を講じながら、協定内容に近い頻度での開催を目指しています。

キャンパスを離れ学生が実社会と繋がることは、地域内インターンシップとして音楽を学ぶ学生のキャリア形成に大きく繋がります。併せて大学が担う地域連携と社会貢献の使命を果たし、社会と隣人の仕え人の育成に向け、音楽学部一丸となり産学連携協定の実践に取り組んでまいります。

(音楽学科准教授 松浦 修)



「エレガーノ西宮」で開催されたクリスマスコンサート

ウインドオーケストラのご紹介

2019年度より発足したウインドオーケストラ（吹奏楽）の授業形態は、他大学では指揮者による指導が一般的で、受動的な授業になりがちですが、本学では指揮者、作曲家、演奏家の教員がそれぞれの立場から多角的に指導を行うことによって、能動的な授業となるよう心がけています。メンバーは、音楽学部生、オーディションによって選ばれた他学部生に加え、関西を拠点に演奏家として活躍している講師や演奏研究員もエキストラとして参加しています。プロの演奏家が学生の横で共に演奏することによって、実際の現場で行われている技や知識、空気感を直接体感してもらうことは言葉では伝えられない多くの学びをもたらしてくれています。

また、演奏会を行うだけではなく、学生にやりがいと達成感を体験してもらいたいとの思いから、2021年度には初となるCDをリリースしました。

世界最大手の楽譜出版社ハル・レオナード・ヨーロッパと提携し、世界的にも著名な作曲家の新譜提供を受け、日本初演、世界初収録も実現したことで、世界中から多くの注目が集まっています。

コロナ禍での収録は、感染症対策や収録日の延期など様々な困難もありましたが、学生と教員が丸となって取り組み、より強い絆を結んだプロジェクトとなりました。

9月23日にはエミリー・ホワイト・スミス記念講堂にてウインドオーケストラ初の単独公演を予定しています。学生たちの紡ぎ出す温かいハーモニーを体感していただければ幸いです。

(音楽学科専任講師 稲本 渡)



レコーディング後の様子

春期オンライン語学研修に参加して

文学部 英文学科 3年生

私は2月にオンラインで春期語学研修に参加しました。行く予定だった派遣留学が中止になってしまったときにオンライン参加できるものがあると知り、この語学研修に参加しました。私が参加した大学では、American culture と Speaking/Listening の授業と、アメリカの大学生と交流する Conversation Partner Meeting (CP Meeting) がありました。

授業では主にプレゼンテーションやスピーチをしました。トピックは日本に関する事、アメリカの文化や観光地、環境問題についてなど様々でした。ドキュメンタリー映画やTEDトークも活用し、私が大学で履修している授業では扱わなかったことも学びました。また、同じクラスには日本以外の出身の人もいて、その国の文化や考え方も併せて知りました。どれも1クラス10名程での授業だったので発言や質問がしやすく、授業に対して受動的ではなく学生が積極的に参加していたので、オンラインでもクラスの雰囲気よかったです。CP Meeting では、現在のアメリカの状況や、自分の専攻、音楽、食べ物など多くのことを話しました。授業と比べてCP Meeting はよりリラックスした雰囲気でした。これは授業の後にあったので、本当に休み時間に友人と話しているかのようなようでした。

語学研修の期間、先生方も「あなたたちは未来にいるね」と言って毎回笑顔で授業をしてくださり、とてもやさしかったです。直接カリフォルニアには行けなかったですが、オンラインでも先生や学生との距離が近く、充実した4週間を過ごすことができました。



修了式の日にアリクイのポーズで記念写真

「わからないから、おもしろい。」

神戸女学院大学の学びの魅力を発信するオウンドメディア（※）「わからないから、おもしろい。」を公開しました。

生涯にわたって知的好奇心をもち、人生を豊かにするために学び続けたい、そんな思いをもつ女性のためのメディアです。さまざまな視点から、教員の研究・活動、卒業生のいま、学生の活動や取り組みなどを発信します。

（入学センター・広報室職員）

※オウンドメディアとは

「自社・大学等で保有するメディア」の総称のことです。主に「WEB マガジン」を指すことが多く、このメディアも「WEB マガジン」です。



「わからないから、おもしろい。」トップページ

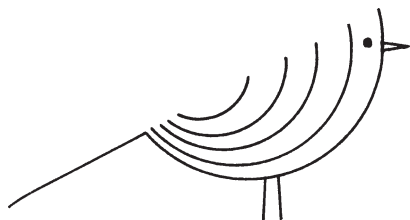
ご当地映画「にしきたショパン」

震災前後の西宮北口を舞台とした映画「にしきたショパン」の制作を後援し、撮影場所として本学院講堂、社交館等を提供しました。講堂はピアノコンクールの会場、また社交館は主人公が留学したポーランドの下宿の一室という設定です。いわゆる商業映画ではなく上映箇所は限られますが、ミラノ国際映画祭で最優秀長編作品賞を受賞する等高い評価を受けていますので、ぜひご覧ください。

（総務課）



クランクアップの記念撮影「にしきたから世界へ！」



コロナ禍での学びを継続させる取り組み

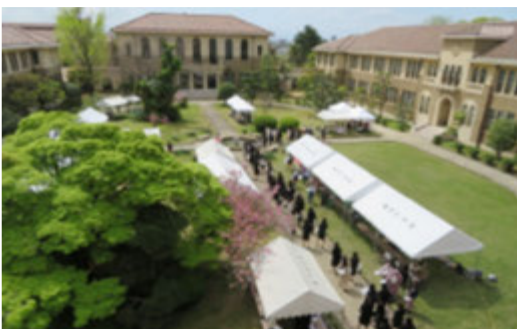
2021年度、対面授業を大幅に増やしました。授業の実施にあたっては十分に感染対策を取った上で行っています。ここでは「リアルでの学び」と感染対策との両立を図るための取り組みの一部をご紹介します。

(その後、緊急事態宣言の発令にともない、対面授業の実施に一時制限が生じました。)

〈大学入学式・密を避けて実施〉

参列者を新入生に限定の上、密集防止のために3回に分けて行いました。なお、式典の様子はライブ中継およびオンデマンド配信を行いました。

入学式終了後には、学生自治会主催で「クラブ・同好会紹介&説明会 in 中庭」が開催され、多くの新入生が中庭を訪れました。



〈正門他・検温と登校チェック (大学生対象)〉

検温と学生証スキャンによる記録を同時に行えます。最初はとまどいもありましたが、すぐに慣れてスムーズに進むようになりました。



〈英文学科・中庭でのフレッシュマンキャンプ〉

感染対策として、時間を短縮のうえ野外で実施し、中村准教授デザインのレジャーシートに座ることで密を防ぎました。晴天に恵まれた中タブレットを用いたクイズなどで親睦を深め、楽しいひとときを過ごせました。



〈総合文化学科・オンラインフレッシュマンキャンプ〉

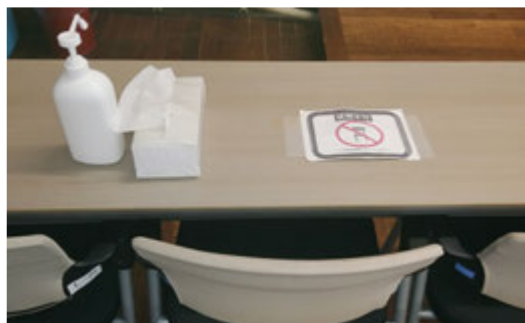
総合文化学科ではプログラムを一部変更して基礎ゼミでオンラインフレッシュマンキャンプを実施しました。総合文化学科所属の3名のツアー・マイスター(※)が作成した案内動画を視聴しながら、WEBキャンパスツアーを楽しみました。学生支援を目的とした参加記念品も用意しました。

※重要文化財見学ツアーを担う学生案内スタッフ



〈教室・いつでも清潔を保てるように〉

各教室には、各自で都度清掃ができるように消毒液とペーパータオルを常備しています。また、使用できる座席を限定することで「密」を避けています。



〈食堂等・安全な環境を守るために〉

食事中はマスクを外すため、飛沫感染リスクが高くなりますので、パーティションを各席に設置するとともに「黙食」のご協力をお願いしています。



〈手洗い場の増設〉

手をこまめに洗い、清潔を保てるように学内の随所に手洗い場を増設しています。



〈オンラインによる礼拝〉

オンライン授業下でも礼拝は毎日実施し、オンデマンド方式で翌日から3日間程度公開しています。

(小さいですが、パイプオルガンの前に中継用カメラが写っています)



(総務課)

愛校週間と春季宗教強調日礼拝

創立者イライザ・タルカット先生の誕生日を含む1週間は愛校週間としてまもり、創立者の思いを確認する時としています。しかし、残念ながら新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い、再び授業の多くが遠隔で実施されることとなりました。例年は、教職員、同窓生、学生有志で神戸のタルカット先生の墓前にて礼拝をまもりますが、中止となりました。

チャペルアワーでは、めぐみ会理事と、卒業生である職員2名からお話を伺うことができました。

大学では毎年、金曜日のアッセンブリアワーにて、「春季宗教強調日礼拝（創立者記念日礼拝）」をまもっています。今年度も、飯 謙院長より「創立者イライザ・タルカット先生（1836-1911）—神戸女学院建学の祈り—」と題して、ご講演いただきました。学生・教職員を対象に、期間限定でオンデマンド動画配信を行いました。

タルカット家の歴史、来日前の先生の歩みや神戸女学院が創立された経緯など、丁寧にご説明くださいました。タルカット先生は会衆派の家に生まれ育ち、教師の道を歩まれました。ご親族のご不幸や看病により職を辞すなど、一本道を進まれたわけではありませんでした。しかし、自分のためではなく隣人の喜びのために、自らのタラント（才能、たまもの）を尽くして行動され、日本でご生涯を閉じられました。先生の「愛神愛隣」の精神は、学院に連なる多くの人々の心に刻まれ、今を生きる私たちへと受け継がれていることを改めて感じさせられました。最後に、タルカット先生に学んだ卒業生で、学校や教会の設立に尽力された不破（村山）きよ氏についてご紹介され、講演が終了しました。

今年度も建学の精神について良い学びの時を持つことができ、深く感謝いたします。皆でともに礼拝をまもれる日々が訪れることを心よりお祈りいたします。

(チャプレン室)

2020年度 神戸女学院大学図書館報告

※新型コロナウイルス感染症の影響で、前期は6月末日まで閉館し、7月からは予約制にて新館・音楽学部図書室を開館した（本館資料利用は新館にて受付）。消毒を徹底しつつ対象者、受入れ人数等を段階的に増やしながらの開館となった。また図書館資料郵送貸出、文献複写郵送サービスを行い、加えてデータベースのライセンス数増設等オンラインサービスを拡充した。

1. 統計

・蔵書数（冊）

	2020年度受入	2020年度末現在
和書	1,842	266,704
洋書	497	173,001
合計	2,339	439,705
AV資料	6点	4,167点

・2020年度貸出状況（冊）

学 生	4,053
教職員	1,492
外来者	266

・2020年度相互利用（件）

	文献複写	図書借用	閲覧	照会
依頼	219	37	1	4
受付	233	24	0	6

2. 受入図書

・教育資料費による図書購入

『優生保護法関係資料集成』ほか

計2タイトル 20冊

・寄贈図書

『旅する琉球・沖縄史』ほか

計19冊

3. その他

・新入生対象ガイダンス

Moodleに動画を掲載。

計388名受講

・3年次生対象

対面にて開催：1回

Zoomにて開催：18回

計19回96名受講

(図書館課長)

2021年度 大学・大学院入学試験結果概要

●大 学

学 部	学 科	入学定員	入学者数
文学部	英文学科	150	93
	総合文化学科	200	176
音楽学部	音楽学科	46	42
人間科学部	心理・行動科学科	90	90
	環境・バイオサイエンス学科	80	78
合 計		566	479

●大 学〔編入学（3年次）〕

学 部	学 科	入学定員	入学者数
音楽学部	音楽学科	1	0

●大学院（修士課程・博士前期課程）

研究科	専 攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	13	0
	比較文化学専攻	5	1
人間科学研究科	人間科学専攻	10	10
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	7	5
合 計		35	16

●大学院（博士後期課程）

研究科	専 攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	2	0
	比較文化学専攻	2	1
人間科学研究科	人間科学専攻	2	0
合 計		6	1

2021年度 在籍学生数
(2021年5月1日現在)

●大 学

学部・学科	文学部			音楽部	人間科学部			合計	
	英文科	総合文化学科	小計	音楽科	心理・行動科学科	環境・バイオサイエンス科	小計		
1年	21000	93	176	269	42	90	78	168	479
2年	20000	160	225	385	38	114	83	197	620
3年	19000	156	221	377	48	106	102	208	633
4年	18000	164	232	396	25	108	77	185	606
	17000	15	18	33	1	8	10	18	52
	16000	3	3	6	0	0	2	2	8
	15000	0	4	4	1	1	0	1	6
	14000	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	591	879	1470	155	427	352	779	2404	

●科目等履修生

学 部	数
大学部	8
大学院	1

●聴講生

学 部	数
大学部	2
大学院	7

●大学院修士課程・博士前期課程

研究科・専攻	文学研究科			人間科学科	音楽研究科	芸術表現科	合計
	英文学	比較文化学	小計	人間科学	音楽	芸術表現	
1年	2100	0	1	1	10	5	16
2年	2000	2	3	5	10	10	25
	1900	0	0	0	2	0	2
	1800	0	0	0	0	1	1
	1700	0	0	0	0	0	0
	1600	0	0	0	0	0	0
合 計	2	4	6	22	16	44	

●大学院博士後期課程

研究科・専攻	文学研究科			人間科学研究科	合計	
	英文学	比較文化学	小計	人間科学		
1年	2100	0	1	1	0	1
2年	2000	0	0	0	0	0
3年	1900	0	1	1	1	2
	1800	0	0	0	1	1
	1700	0	0	0	0	0
	1600	0	0	0	0	0
合 計	0	2	2	2	4	

2020年度 就職状況報告

学 科	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率	進学者数	就職率
				就職決定者／ 就職希望者	大学院	就職決定者／ (卒業者-院進学者)
英 文	161	136	134	98.5%	3	84.8%
総合文化	223	196	192	98.0%	2	86.9%
音 楽	44	27	27	100%	4	67.5%
心理・行動科	108	86	84	97.7%	7	83.2%
就職・キャリア	88	73	73	100%	7	90.1%
合計	624	518	510	98.5%	23	84.9%

(2021年4月末日現在)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年春の就職活動は想定外の状況下で進行しました。学生に限らず企業も手探り状態での活動を余儀なくされ、大規模な合同説明会は感染拡大を懸念して軒並み中止、また大手企業がいち早くオンライン採用に移行するなど、非常に混乱した1年になりました。

企業の採用活動においては、採用計画の見直し、採用人数の縮小、採用中止などを決定せざるを得ない企業もあり、また多くの企業で採用スケジュールの後ろ倒しも発生し、見通しが立てづらい状況でもありました。

そのようなコロナ禍の状況下で、本学の学生も大きな影響を受けました。具体的には、例年多くの学生が志望するエアライン業界の採用中止の発表がなされたことも、その内の一つです。入学当初よりエアライン業界を第一志望として目指してきた学生の落胆した様子には、大変心を痛めました。また、留学やアルバイト、部活動が大きく制限され、学生自身が選考の中でアピールしたい事柄も大きく見直さざるを得ない状況になりました。その上、慣れないオンラインでの個別企業セミナーや面談・面接が広く実施され、どのように対応すればよいか戸惑う学生も多く見られました。特に大きな影響を及ぼしたのが面接です。昨年度までは、各企業に向向って面接を受けていたものが、オンライン化により自宅などで受けられるようになりました。いわゆる「オンライン面接」です。メリットとしては、自宅などリラックスできる環境下で参加が可能であること、移動がないので交通費の削減や面接日程調整が容易であること、また感染リスクの軽減が図られることなどが挙げられます。一方、デメリットとしては通信

回線トラブルに不安を抱えていたこと、面接官の表情や反応が見えづらく、またお互いの話し方や雰囲気伝わりづらいつつコミュニケーションの不足を感じていたことなどが挙げられます。その上、昨年度までは、企業説明会から面接まで何度も直接企業訪問することで得られていた、通勤経路の確認・自宅から企業までの所要時間、会社周辺の環境、実際に働いている社員の雰囲気など、企業の日常に関する情報が、以前よりも不足している状態で選考が進んでいくことにもなりました。

上記を踏まえ、キャリアセンターではいち早く新たな支援を実施しました。4月にはオンライン（Zoom）を利用した「オンライン面談」を開設し、緊急事態宣言発令による大学への登校禁止措置といった状況下でも、今までと同じように「就職活動に関する相談を何でもできる環境」を整えました。面談は個別対応で、エントリーシートの添削、面接対策、就活不安などに幅広く対応してまいりました。4年生はもちろん、3年生には例年より前倒しで面談を実施することで、早期から対策ができるよう支援しました。その結果、学生はオンライン面談を積極的に活用し、連日満席となりました。

また、6月には、オンライン面接の対策として「オンライン映えする話し方・見せ方」（自身の表情や服装、声のトーンなどのチェックに活用）に特化した個別アドバイスも実施し、学生が自信をもって面接に臨めるよう支援しました。このような支援を実施するにあたり、キャリアセンターが最も意識したことは、学生が孤独感を抱くことがないように努めることでした。大学への登校禁止措置により友人と情報交換ができない不安、先が見えない不安を訴え

る学生が多く見られ、より一層学生の気持ちに寄り添った、きめ細やかな支援を心がけてまいりました。また、ハローワークや就職情報提供企業主催の「オンライン求人紹介会」等を急遽企画し、コロナ禍で求人に限られる中でも優良企業に出会う機会を創出しました。

その結果、2020年度卒業生の就職決定率（就職希望者に対する就職者の割合）は98.5%で、前年度を0.2ポイント下回りましたがコロナ禍の状況下でも前年度並みとなりました。このことは、学生がキャリアセンターの就職支援を活用しながら各自の進路についてしっかり考え、その目標に向かって最後まであきらめず取り組んだ結果だと言えます。

産業別では、卸売・小売業が19.0%と前年同様、金融・保険業が16.3%（前年度比1.1ポイント増）、サービス業が13.7%（同1.5ポイント減）となりました。次いで製造業、情報通信業、医療・福祉が続いています。大きな変化が見られたのは、情報通信業（前年度比1.8ポイント増）及び医療・福祉（前年度比1.9ポイント増）の増加、それに比して運輸業・郵便業が激減（前年度比6.8ポイント減）したことです。情報通信業の増加要因は、昨今のデジタル化の進展から、従来は志望者数の少なかったIT系企業を進路選択に入れる学生が増加したこと、また医療・福祉の増加要因は、少子高齢化が進む中で将来性を感じ、就職先として医療・福祉に目が向けられたことと思われる。そして、運輸業・郵便業の減少要因は、先にも述べましたが、エアライン業界の採用中止に伴い、就職者が減少したことです。

このように景気の先行きが不透明な状況下で、自身の将来に不安を感じる学生たちの企業選びの軸が、業績・安定感・成長性など企業のポテンシャル重視にシフトチェンジしているようにも見えます。また、コロナ禍における各企業の新しい働き方（リモートワークや時差出勤など）への取り組み体制や、就職活動を行う学生の安全を守るためにどこまで尽力したのかということが、学生の企業選びに大きく影響してきていると感じます。

さて、近年の傾向として企業のインターンシップ実施率は年々上昇しています。学生においても、長期休暇である夏休み、冬休み、春休みなどを利用してインターンシップへの参加が増えています。政府主導の「就活ルール」は存在していますが、実際のところ、企業による広報活動開始前（2月末まで）の期間に企業と学生が何らかの接点を持つ機会とし

て、インターンシップの存在感が大きくなってきています。特に、2020年度の就職活動ではコロナ禍の影響で3月以降の合同説明会が中止されるなど、企業と学生の接点の場が大きく制限されました。そもそも企業がインターンシップを実施する本来の目的は、自社が所属する業界・仕事に対する理解を深めて、就職先として志望度を上げてもらうことにあります。しかし結果として、企業と学生の双方にとって、広報活動開始前（2月末まで）の期間におけるインターンシップや企業主催の業界研究イベントへの参加実績が就職活動を進めていく上で重要な位置づけとなったことは否めません。

また、各企業においては、近年「厳選採用」という方針の下、「採用基準をクリアしなければ、採用予定人数を満たさなくても良い」という企業が増えています。企業にはさまざまな仕事があり、さまざまなタイプの人材が求められますが、どのような職種であっても、受け身にならず自ら考えて行動する「主体的な人材」が求められています。企業は、将来の成長に繋がる経営上の重要な課題として、自社で活躍できる可能性が高い人材を選ぶことに必死になっています。だからこそ、学生自身が自分の強みや特性を生かせそうな企業に巡り会い、入社後にいきいきと輝いて活躍できるイメージを持てる企業にトライすることが大切です。

志望業界への憧れや興味だけではなく、「自分はなぜ『この企業』に入社したいと思うのか」、「入社できた『この企業』でどのように貢献できるのか」を自分なりに明確にして選考に臨むことこそが就職活動成功のカギとなるでしょう。つまり、企業研究と自己分析は必ず両輪で行い、企業と自分の接点（繋がり）を意識してアピールすることが重要です。

学生には、自分が幸せだと感じられる仕事を見つけてほしい、自分らしさや自分の役割を見つけて力を発揮してほしいと考えています。今後は更に仕事や働き方も多様化していくことでしょう。キャリアセンターでは「知らない世界を、知っている世界に変えていく」をテーマに掲げ、学生が自身の将来について自ら考え選択できるよう、学ぶ場・知る場を数多く提供してまいります。また、企業の人事担当者や就職情報提供企業などとの連携を一層深め、学生にとって有益な情報の提供と、ひとり一人に丁寧できめ細やかな指導を心がけ、より充実した支援を目指します。

（キャリアセンター課長）

主な就職先**建設業**

一条工務店／積水ハウス／大和ハウス工業／日建設計／ヤマダホームズ

製造業

アース製薬／アイシン・エイ・ダブリュ工業／明石スクールユニフォームカンパニー／朝日スチール工業／出光興産／大阪シーリング印刷／オリエンタル酵母工業／オリエンタルモーター／キトー／小松製作所／サラヤ／参天製薬／ジャヴァコーポレーション／スズキ／住友電気工業／ダイキン工業／ダイハツディーゼル／TASAKI／新田ゼラチン／日本圧着端子製造／ハイレックスコーポレーション／富士通／湯山製作所／吉野石膏／淀川製鋼所／ローム／ワコール

情報通信業

エヌ・ティ・ティネオメイト／NECソリューションイノベータ／キヤノン IT ソリューションズ／さくらケーシーエス／CBC テレビ／スポーツニッポン新聞社／住友電工情報システム／T&D 情報システム／デル・テクノロジーズ／東京海上日動システムズ／富士通エフサス／富士電機 IT ソリューション／USEN-NEXT HOLDINGS

運輸業、郵便業

上組／川西倉庫／神戸電鉄／佐川急便／ジェイアール東海バス／シャープ／神鋼物流／辰巳商會／東ソー物流／西日本旅客鉄道／日立物流西日本／富士貿易／ユニエックス NCT／日本郵便

卸売業、小売業

アズワン／伊丹産業／伊藤忠建材／川重商事／ケーオーデンタル／サンセイテクノス／シャープマーケティングジャパン／住電日立ケーブル／ダイワボウ情報システム／トヨタモビリティパーツ／日伝／村中医療器／メディセオ／リョーサン／大阪トヨペット／関西マツダ／神戸マツダ／コープこうべ／日産大阪販売／兵庫日産／ホンダ北大阪

金融業、保険業

りそな銀行／イオン銀行／三井住友信託銀行／北陸銀行／清水銀行／池田泉州銀行／関西みらい銀行／紀陽銀行／中国銀行／香川銀行／百十四銀行／ろうきん中央機関グループ／旭川信用金庫／尼崎信用金庫／淡路信用金庫／西兵庫信用金庫／日新信用金庫／播州信用金庫／玉島信用金庫／観音寺信用金庫／成協信用組合／楽天証券／全国共済農業協同組合連合会山口県本部／損害保険ジャパン／チューリッヒ保険会社／東京海上日動火災保険／三井ダイレクト損害保険／三井住友海上火災保険／住友生命保険／第一生命保険／日本生命保険／明治安田生命保険／メットライフ生命保険／とびあ浜松農業協同組合／京都農業協同組合／いずみの農業協同組合／大阪北部農業協同組合／大阪南農業協同組合／兵庫六甲農業協同組合／福山市農業協同組合／au フィナンシャルサービス／MS&AD 事務サービス／三井住友トラスト・ビジネスサービス

不動産業

住友不動産販売／セキスイハイム近畿／積水ハウス不動産関西／日住サービス／日本空港ビルデング／パナソニックホームズ不動産／阪急阪神ビルマネジメント

学術研究、専門・技術サービス業

国立研究開発法人理化学研究所

宿泊業、飲食サービス業

近鉄・都ホテルズ／ジェイアール西日本フードサービスネット／ホテルオークラ神戸／三井不動産ホテルマネジメント

教育、学習支援業

公益財団法人大阪 YMCA／東京アカデミー／NOVA ホールディングス

医療、福祉

独立行政法人労働者健康安全機構／兵庫県社会福祉事業団／ニチイ学館

サービス業

アース環境サービス／一般社団法人日本自動車連盟／エイチアールワン／大阪天満宮／全国農業協同組合連合会／関電サービス／東京海上アシスタンス

公務

法務省大阪矯正管区／国税庁大阪国税局／北海道／紀宝町／大阪府／大阪府警察／大阪市／兵庫県／兵庫県警察／宝塚市／神戸市／土庄町

主な進学先**英文学科**

同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科／神戸市外国語大学大学院 外国語学研究科／兵庫教育大学大学院 教育研究科

総合文化学科

神戸女学院大学大学院 文学研究科／関西大学大学院 会計研究科

音楽学科

神戸女学院大学大学院 音楽研究科

心理・行動科学科

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科／大阪大学大学院 人間科学研究科／ノートルダム清心女子大学大学院 人間生活学研究科

環境・バイオサイエンス学科

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科／東北大学大学院 生命科学研究科／上智大学大学院 地球環境学研究科／大阪大学大学院 生命機能研究科／神戸大学大学院 農学研究科／兵庫県立大学大学院 情報科学研究科

2021年度 キャリアサポートプログラム (案)

◆3年生対象

- 4/14(水) 就職ガイダンス①
 4/21(水) インターンシップガイダンス
 4/28(水) インターンシップ選考対策講座①(基本編)
 5/12(水) インターンシップ選考対策講座②(書類対策編)
 5/19(水) インターンシップ選考対策講座③(ES実践編)
 5/26(水) インターンシップ選考対策講座④(社会人マナー編)
 6/2(水) SPI対策講座(入門編)
 6/9(水) 《就活ベーシック講座①》「自己PR」入門
 6/16(水) SPI模試
 6/23(水) 《就活ベーシック講座②》
 履歴書+エントリーシート
 6/30(水) 《就活ベーシック講座③》職種研究
 7/7(水) 《就活ベーシック講座④》企業・業界研究
 7/14(水) 《就活ベーシック講座⑤》志望動機
 8/19(木)、20(金)、23(月)
 自己分析とコミュニケーション講座【事前申込制】
 8/24(火)~27(金) KCエアラインスクール【有料】
 9/15(水)~17(金) 初期選考突破のための特訓講座:
 SPI編
 9/29(水) インターンシップ事後研修会
 10/6(水) 就職ガイダンス②
 10/13(水) 《就活ベーシック講座⑥》就活マナー編
 10/18(月)~20(水)
 言語・非言語 Webテスト【事前申込制】
 10/20(水) 《就活ベーシック講座⑦》筆記試験
 10/27(水) 《就活アドバンス講座①》
 グループディスカッション
 11/10(水) 《就活アドバンス講座②》面接
 11/17(水) MOVICATION: 面接編
 11/22(月)、25(木) 《就活アドバンス講座③》
 グループディスカッション 実践編①
 【事前申込制】
 12/1(水) 《就活アドバンス講座④》
 面接入門講座
 12/4(土) OG訪問会
 12/7(火)~10(金) 学内証明写真撮影会【事前申込制】
 12/7(火)~9(木) 《就活アドバンス講座⑤》
 面接入門講座
 1/12(水) 企業・業界の選び方セミナー
 1/26(水) 就活総おさらいセミナー
 1/27(木) 《就活アドバンス講座⑥》
 グループディスカッション 実践編②
 【事前申込制】
 1/31(月)~2/4(金) 《就活アドバンス講座⑦》
 面接体験講座【事前申込制】
 1/31(月)~2/2(水) 言語・非言語 Webテスト
 【事前申込制】
 2/1(火) 就職ガイダンス③

- 2/3(木) お勧め企業紹介セミナー:
 学内セミナー参加企業編
 2/3(木) お勧め企業紹介セミナー:OG企業編
 2/7(月) 《就活アドバンス講座⑧》
 グループディスカッション 実践編③
 【事前申込制】
 3/2(水) 模擬面接講座①
 3/4(金) 模擬面接講座②
 3/9(水) 模擬面接講座③
 3/11(金) 模擬面接講座④
 3/16(水) 模擬面接講座⑤
 3/18(金) 模擬面接講座⑥
 3/23(水) 模擬面接講座⑦
 3/25(金) 模擬面接講座⑧
 3/30(水) 模擬面接講座⑨
 ※このほか、後期に自己分析サポート面談、ゼミ訪問等を実施。

◆4年生対象

- 4/2(金) 模擬面接講座①
 4/9(金) 模擬面接講座②
 4/16(金) 模擬面接講座③
 4/19(月) 就活総おさらいセミナー
 (就活対策パッケージ)
 5/7(金) 模擬面接講座④
 5/14(金) 模擬面接講座⑤
 5/21(金) 模擬面接講座⑥
 5/28(金) 模擬面接講座⑦
 ※キャリアカウンセラーによる面談は前期中毎日実施。6月以降も必要に応じて模擬面接講座、振り返りの講座等を実施する予定。

◆2年生対象

- 6/18(金) 進路ガイダンス
 1/21(金) 就職ガイダンス

◆1年生対象

- 7/2(金) キャリアガイダンス
 9/24(金) 1年生のためのキャリアデザインセミナー

◆1~3年生対象

- 5/14(金) 公務員ガイダンス①
 5/21(金) 公務員ガイダンス②
 5/28(金) 公務員受験対策講座説明会
 神戸市によるガイダンス
 9月~11月 業界探究セミナー(金曜日)
 10月~11月 仕事発見セミナー(金曜日)
 12/3(金) 地方就職セミナー
 2月 企業研究セミナー

<私の研究>

中欧・東欧の近現代史

桐生 裕子



私の専門は、中欧・東欧の近現代史です。これまで主に、ハプスブルク君主国とその解体後に形成された諸国家（特にチェコスロヴァキア）の歴史を研究してきました。中欧・東欧の近現代史研究は、1989/90年に社会主義体制が崩壊した影響もあり、ヨーロッパ史のなかでも近年急速に研究が進展している領域のひとつといえます。

中欧・東欧史研究が進展するなかで、ハプスブルク君主国のとらえ方も大きく変化しつつあります。従来、近代のハプスブルク君主国は「遅れた」王朝的国家であり、時代の変化にも、先鋭化する民族問題にも対応できず、必然的に解体したと考えられてきました。しかし、近年では君主国が時代の変化に比較的柔軟に対応していたこと、またナショナリズムの高まりと君主国への忠誠心は両立しうること、そして住民が第一次世界大戦に至るまで君主国に強い忠誠心を持っていたことなどが明らかになっています。

君主国史の見直しが進むなかで、君主国の解体は必然だったわけではなく、第一次世界大戦中の統治に失敗したことの帰結だったのではないか、という見方も示されるようになりました。その結果、第一次世界大戦と君主国の解体に関する研究が特に活発になっています。

このような研究動向を背景に、現在私も第一次世界大戦期の君主国について研究を進めています。戦時経済体制の要のひとつである食糧政策と農村住民の動向に注目し、第一次世界大戦が君主国と住民にどのような影響を与えたのかを明らかにすることを通じて、君主国解体と新国家建設をとらえる新たな視点を提示することが、大きな目標です。

このような研究動向を背景に、現在私も第一次世界大戦期の君主国について研究を進めています。戦時経済体制の要のひとつである食糧政策と農村住民の動向に注目し、第一次世界大戦が君主国と住民にどのような影響を与えたのかを明らかにすることを通じて、君主国解体と新国家建設をとらえる新たな視点を提示することが、大きな目標です。

(総合文化学科准教授)

私の研究

吉益 光一



私の専門領域は精神保健であり、これまでは医学の立場から、自閉症やADHDをはじめとする発達障害の臨床的特徴と原因に焦点を当てた疫学研究を中心に展開してきた。この間産業医として、そして臨床医として多数の発達障害

の症例を経験したが、ライフステージによって課題は様々であり、こうした発達障害を持つ人たちが、その家族に対する社会福祉的援助が極めて重要な意味を持つことは自分自身の経験上から痛感している。

今後の研究として、これまで継続してきた発達障害の研究に関して、発達障害を持つ者の社会参加、あるいは社会復帰に焦点を当てた研究を行いたいと考えている。具体的には職域や学校をフィールドとした疫学調査を実施し、発達障害の当事者と周囲のQOL（生活の質）を低下させる要因を究明し、それを改善させることにつながる研究を実施したい。このような要因として、当事者の知的レベルや性格、家族の理解や支援、経済状態、職場の理解、企業文化、気分障害などの精神科合併症などが候補要因になり得る。こうした問題の解決には医学的アプローチだけでは限界がある。2019年に初めて誕生した公認心理師の重要なコンセプトの一つに多職種連携、あるいは多職種協働が挙げられている。従来より本学では、精神保健福祉士の養成に努めており、まだ途に就いたばかりであるが公認心理師の養成にも取り組んでいるところである。

長引くコロナ禍の中で、社会人・学生を問わず、特に発達障害者の多様な心理的問題が浮き彫りになっている。学校教育や就労援助に関する研究活動を通して、医師や看護師など医療職と、精神保健福祉士など福祉職や公認心理師などの心理職の、多職種間における最も効果的な連携のあり方を究明し、一つのモデルを確立したいと考えている。

(心理・行動科学科教授)

中高部報告

日本生物学オリンピックに参加して

高等学部 2年生

日本生物学オリンピック2020代替試験は、日本生物学オリンピック2020が新型コロナウイルスの影響で中止となったことを受け国際生物学オリンピック日本代表選考のため開催されました。例年とは異なり、一次試験はオンライン開催、二次試験は通常の試験内容から実験を除外したものとなりましたが、試験当日、準備段階共に有意義な時間を過ごすことができました。

日本生物学オリンピックの試験問題の殆どは、示された実験条件と実験結果から考察を行うという形です。試験中には問題文中の実験を把握した上で適切な結論を導き出すべく思索することが必要となります。一方で、その実験の内容は問題文に含まれているという特色により、生物学オリンピックでは全く触れたことのない実験内容であっても論理的に思考することによって正解を求めることが可能になる場面が多々あります。推理小説のように、得られた情報の断片を繋ぎ合わせて結論を形作ろうとする探究心を存分に発揮できることが生物学オリンピックの醍醐味です。

今回この日本生物学オリンピックに参加することができ、本当に良い経験をさせていただきました。銅賞を獲得することができたことは勿論嬉しく思いますし、予め勉強していた間も試験中も心の底から楽しむことができました。準備をしてくださった方々、アドバイスをいただいた方々皆様に感謝しています。

私の「三つ編み」を編む

高等学部 3年生

第66回青少年読書感想文全国コンクールにおいて、「私の『三つ編み』を編む」という作文で、全国学校図書館協議会長賞をいただきました。

私が「三つ編み」という本に出会った時、タイトル、装丁、帯、全てに興味を持ち、この本について書こう、と直感的に思いました。読後感はとても爽快でした。異なる境遇の3人の女性たちが、自らの人生を全うすることで、無意識のうちに、直接関わりのない者の人生までもより良い方向に変えていくことがある、このことは確かな希望でした。そして、「個人の人生という『三つ編み』を丁寧に編み続けることは、社会という『三つ編み』につながり、社会の不条理に立ち向かう第一歩となるのではないか。そうであるなら私は、しなやかで強い私の『三つ編み』を編んでいきたい。」このように感じ、興奮のまま感想文を書き綴りました。

コンクールに出品する際、推敲する過程では、添削担当の先生に文章の癖や論理の甘さをご指摘いただきながら、より良い言い回しを考え、再構成を行いました。対話を通して、自分の文章力の成長を感じました。また、中央選考で賞をいただいた結果、毎日新聞の取材を受けたり、「考える読書」に感想文を掲載していただいたりしました。全ての貴重な経験に感謝しています。

「三つ編み」は、ささやかですが確かな希望を感じさせてくれる本です。ぜひ手にとって、「私はどんな『三つ編み』を編んでいこうか」と考えてみていただければと思います。

ヨーロッパ女子数学オリンピック報告

高等学部 2年生

私は4月9日から15日に行われた第10回ヨーロッパ女子数学オリンピック（EGMO）ジョージア大会に参加しました。今年はCOVID-19の影響でオンラインでの開催となったため、東京のホテルに2泊し、4時間半×2日のコンテストのみ参加しました。

EGMO 日本代表は11月の日本代表一次選抜試験と1月の日本数学オリンピック（JMO）予選の結果で1月末に発表され、その後2回の通信添削と3月末の代表強化合宿を経て本番を迎えます。代表に決まってから本番までの期間が短いため、十分に準備をすることができませんでしたが、合宿では数オリOB・OGのチューターや他の日本代表選手と会い、刺激を受けました。本番の会場は合宿と同じだったので緊張することはなく、普段通りのコンディションでコンテストに臨むことができ、良かったです（逆に、本番なのだと言意識を高めるのに苦労しました…）。コンテスト自体は例年より難しく、結果がでるまで不安でしたが、銅メダルをいただくことができ安心しました。コンテスト終了後結果発表までは、オフラインの開催であれば観光や他国の代表選手との交流があるのですが、それらがなくなったのは非常に残念でした。ただ、WhatsAppを通して他国の選手と少し繋がることができ嬉しかったです。

このような状況下で参加を決めてくださった財団の方、添削や講義でお世話になったチューター、その他このような大変貴重な機会を与えてくださった全ての方々に感謝しています。

中高部図書室報告

I. 2020年度の主なできごと

蔵書点検 実施中止

読書会 2021年2月3日(水) J1～S2
中高部図書室だより「ライフ・ラリー」
(年6回発行)

II. a 2020年度増加図書冊数（資産化図書）

	購入	寄贈	移管	合計
和漢書	6	0	0	6
洋書	0	0	0	0
合計（冊）	6	0	0	6

b 1972年以降受け入れ図書の蔵書冊数の増減（資産化図書）

2020年度 増加数	6
2020年度 除籍数	172
蔵書数（冊）	6,313

c 消耗図書費の蔵書冊数の増減

2020年度 増加数	1,374
2020年度 除籍数	510
蔵書数（冊）	57,394

III. 2020年度貸し出し冊数

J1	4,404
J2	3,167
J3	1,744
S1	1,491
S2	754
S3	206
教職員	985
大学生・大学院生	0
その他	724
合計（冊）	13,475

貸し出し日数186日（休校35日含まない）
1日平均 71冊

(中高部図書室司書教諭)

2021年度中学部入学試験結果報告

日程：2021年1月16日(土)・18日(月)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
135	272	265	154	145

(中高部事務室)



J1 デイキャンプ報告

4月1日、2日と2年ぶりのJ1 デイキャンプを行うことができました。昨年の夏にデイキャンプのリーダー養成のための行事である「リーダーシップトレーニングキャンプ」は中止になり、半年以上にわたる校内での準備のみで臨んだ本番でした。今年はコロナウイルス対策として、レクリエーションの内容を変更したり、密を避けるため2クラスに分けてアクティビティを行ったり、手洗いや換気をどの場面でも心がけたり、例年以上に細部にわたって配慮する必要のある場面が多かったのですが、リーダーの生徒たちは手際よくJ1をリードし、臨機応変に対応してくれていました。

そんな先輩たちに見守られながら、緊張の面持ちで登校したJ1も、2日目が終わる頃には新しい友人や先輩と打ち解けた様子で、マスクの下には笑顔が溢れておりました。

今年のキャンプテーマは「蜜柑成（みかんせい）」。学年カラーであるオレンジ（みかん色）と、今は未完成であるけれどこれから6年間で成長していくJ1の今をかけてこのテーマにしました。クラスごとに絵を描き、1人ずつがピースに言葉を書いたジグソーパズルには、未完成から完成に向けての力強い目標や希望が書かれていました。その思いがしばむことなく、これから様々な経験を通じてオレンジの太陽のような花を咲かせていってほしいと思います。

(ディレクター)

J新入生歓迎会挙行

4月26日にJ新入生歓迎会が開かれました。準備段階より新型コロナウイルスの感染状況や政府、兵庫県の記事をにらみながらの活動でした。練習時間の不足、リハーサルからの制限のかかった活動など、挙げればきりのない悲観的な要因の中、生徒たちはクラブ活動ができることの喜び、発表の場があることへの感謝を身体全体で表し、感染対策を率先して行う献身ぶり。

出演団体は軽音楽部、コーラス部、ギター部、ESS部、演劇研究部。

当日は座席の間隔を最大限確保しつつ、J全学年が講堂で舞台を鑑賞することができました。昨年は中止、Jもみの木のつどい・J送別会は一学年別教室でリモートでの鑑賞でしたから、喜びもひとしおの様子。各団体とも客席で鑑賞する生徒がいることでリハーサルとは見違えるような演技。J3司会の生徒が会場を盛り上げながら上手に進行し、盛会のうちに幕となり、生徒たちは校舎に戻っても興奮冷めやらず、本来の学校らしい元気、明るさを取り戻していました。

今回も裏方で全体を支えたJ文化部は舞台の中止により経験が積めなかった代での仕事でしたが、喜びをもって取り組み、最高の舞台を作り上げました。困難な状況でもひたむきに努力できる生徒たちが神戸女学院を支えていることを実感します。

顧問の先生方、管理職の先生方、施設課の方々には今回は特にご無理を申し上げ、様々なご助力をいただきました。ありがとうございます。

(中高部教諭)

S文化系クラブ発表会

Sのクラブには、毎年愛校バザーでの舞台をS3の引退のタイミングとしているところがあります。2021年度のバザーは秋に延期となり、その機会を失ってしまったクラブが立ち上がって、S文化系クラブ発表会の開催が実現しました。5月29日の当日は、プラスバンド部、ダンス部、軽音楽部（録画のみ）の3団体が参加し、S文化部が照明や音響、会場設営、録画等の裏方を担当しました。

日程は早々に決まったのですが、観客の有無および範囲についての決定は、緊急事態宣言に翻弄されました。クラブの生徒は、保護者の皆様とともにクラブ活動に励んだ卒業生に舞台を見ていただきたいと希望し、学校としても検討を重ねましたが、緊急事態宣言の中では在校生以外の来校が難しく、断念せざるを得ませんでした。部員の保護者の皆様と各部卒業生の皆様には録画を見ていただけるようにする予定です。また、当日は急遽リアルタイム配信も試みしましたので、見ていただけたかたもいらっしゃると思います。（不具合がありましたことをお詫びいたします）

当日は、Sの同級生が応援に駆けつけたり、舞台を見る機会がなかなかなかったJの生徒が来てくれたりして、発表会らしい雰囲気となりました。「節目」が生徒にとっていかに大切かを痛感する状況の中で、今回このような会を無事に開催できたことは大きな喜びです。生徒たちが舞台を諦めずに提案してくれたことと、S文化部がこの企画を快く引き受け、仕切ってくれたことに感謝しています。

（S文化部顧問）

2021年度 中上部体育祭

去る6月1日(火)に中上部体育祭が開催されました。昨年度は新型コロナウイルスによる感染拡大により体育祭ができなかったため、今年度は感染予防を第一に、今までの体育祭から大幅に変更して、新たに体育祭企画実行委員会（体企）を中心に企画し直しました。今後の見通しが立たない状態から始まり、準備期間も例年より短かったのですが、体企幹部、体育部、縦割りの各組の組長と教員で何度も会議を重ね、必ず体育祭を行うことを目標に協力体制がとられました。密にならないようにルールを改正したり、今までの競技を取りやめ新たな競技を考えたり、グラウンドの様子を各組の控室に中継できるように調整したりと試行錯誤の日々が続きました。残念ながら保護者の皆様に学校に来て観覧していただくことは叶いませんでした。

S3の生徒たちにとっては最後の体育祭でありましたが、今年の体育祭は自分たちが思い描いていた形とは違った形になったと思います。しかし、一番悔しい思いをしているはずなのに、今年初めて体育祭に参加するJ1、J2の生徒のために、控室で楽しく過ごせるように工夫してくれたり、積極的に感染対策を呼び掛けてくれたりしながら、体育祭を盛り上げてくれました。後日礼拝で、「女学院らしい体育祭とは、例年通りにすることではない」「辛い思いをして決断した体企や体育部をサポートして当然」など、コロナ禍だったからこそ考えたS3の思いを聞き、他者のために力を尽くし友人を大切にする前向きな言葉を聞いたことが心に残りました。

緊急事態宣言下での開催となりましたが、多くの方にサポートしていただき、無事に終わりましたことを深く感謝申し上げます。

（2021年度体育祭顧問）

<課外活動紹介>

[クラブ]

J新体操部

中学部 3年生

J新体操部は、今年で創部10年目を迎えました。大会に向けての練習を中心に、柔軟や体力作りもしています。団体演技の練習では、メンバー同士で意見を出し合い、演技をさらに良いものに作り上げていくので、練習を重ねる度にチームワークが深まっているなど感じます。ノーミスの演技ができた時や試合で優勝した時は、言葉で表せないほどの達成感を味わうことができます。更に新入部員が加わったので、新しい体制で良いスタートが切れるように頑張りたいと思います。

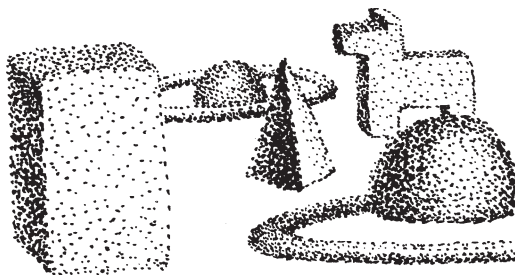
[クラブ]

Jコンピュータ部

中学部 3年生

Jコンピュータ部での活動

Jコンピュータ部では、週3回コンピュータを使って、ITに関することを広く学んでいます。プログラミングの勉強をしたり、タイピングの練習をしたり、時には、DTM（デスクトップミュージック）やボーカロイドを用いた音楽制作やデジタルアートも行い、これからの情報化社会において役立つ、IT技術をたくさん学ぶことができます。先輩後輩の枠を超えて部員同士の仲が良く、和気あいあいと部活をしています。「自分のペースで“コンピュータに強い”中学生」になれる最高の部活です！



[クラブ]

S演劇研究部

高等学部 2年生

S演劇研究部の2020年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。3月に予定されていた春季発表会は中止となり、5月のバザーも中止となってしまいましたが、幸いなことに、文化祭は校内用のみではありましたが開催できることとなり、また11月の阪神支部大会にも無事出場し、引退舞台に立つことができました。波乱の一年ではありましたが、同時に、舞台を発表する場があり、お客さんに見てもらえるということのありがたさを身に染みて実感した一年でもありました。舞台を支えてくださった全ての方々に感謝したいです。

[クラブ]

S漫画・イラスト研究部

高等学部 3年生

S漫研について

私たちは年に2回、愛校バザーと文化祭で部誌「翔」を発行しています。部員それぞれの原稿を印刷した冊子や缶バッジなどのグッズは、毎年開店時からたくさんの方にご購入いただいています。昨年度ならびに今年度の文化祭では、J漫研との合同誌での発行となりましたが、思うようにいかない状況でも部員全員目標に向けて頑張っています。2021年はS文芸部とのコラボ冊子「DUET」の復活にも挑戦し、現在部誌とともに制作中です。皆の努力が確かな形で残るかけがえのない機会を大切に、より良い作品制作に励みます。



〈学院日誌〉

4月1日(木)	学長就任式 新任教職員就任式 オリエンテーション	6月1日(火)	中高部体育祭 (無観客で実施)
4月5日(月)	大学・大学院入学式 学生寮入寮式	6月7日(月)	第1回院長候補者選考委員会
4月6日(火)	中高部教員会議	6月9日(水)	中高部教員会議
4月7日(水)	中学部入学式 (保護者1名のみ参列で実施)	6月18日(金)	教授会 (オンライン)
4月8日(木)	高等学部入学式 (保護者1名のみ参列で実施) J・S別時間帯で始業式	6月21日(月)	第2回院長候補者選考委員会
4月12日(月)	大学前期授業開始	6月23日(水)	理事会 神戸女学院教育振興会役員会 中高部教員会議
4月16日(金)	教授会	6月27日(日)	第1回オープンキャンパス
4月21日(水)	中高部教員会議	7月13日(火)	中高部教員会議
4月28日(水)	理事会	7月14日(水)	中高部終業日
5月12日(水)	中高部教員会議	7月16日(金)	教授会
5月21日(金)	教授会 (オンライン)	7月19日(月)	第3回院長候補者選考委員会
5月22日(土)	創立者記念日 愛校バザー (延期)	7月25日(日)	第2回オープンキャンパス
5月26日(水)	理事会 評議員会 臨時理事会 中高部教員会議	7月28日(水)	理事会 臨時評議員会 臨時理事会 大学前期授業終了
		8月1日(日)	第3回オープンキャンパス

目次

学長就任のご挨拶……………	1
KCC だより……………	3
神戸女学院教育振興会寄付金……………	13
神戸女学院2020年度決算報告、2021年度事業計画及び2021年度当初予算……………	14
史料室の窓・愛校バザー110周年……………	20
事務室探訪……………	21
大学報告	
キャリアデザインプログラムを受講して……………	22
Zoom 講演会 (卒業生) 久山葉子さん「翻訳の仕事」……………	22
ようこそ！西宮浜まちじゅうミュージアム……………	23
大阪アジア映画祭「竹で稼ぐ男たち」字幕制作……………	23
第2回ひょうごユース eco フォーラムに参加して……………	24
「音楽×福祉」スマリシケアライフ社との産学連携……………	24
ウインドオーケストラのご紹介……………	25
春期オンライン語学研修に参加して……………	25
「わからないから、おもしろい。」……………	26
ご当地映画「にしきたショパン」……………	26
コロナ禍での学びを継続させる取り組み……………	27
愛校週間と春季宗教強調日礼拝……………	31

2020年度 神戸女学院大学図書館報告……………	31
2021年度 大学・大学院入学試験結果概要……………	32
2021年度 在籍学生数……………	32
2020年度 就職状況報告……………	33
2021年度 キャリアサポートプログラム (案)……………	36
私の研究……………	37
中高部報告	
日本生物学オリンピックに参加して……………	38
私の「三つ編み」を編む……………	38
ヨーロッパ女子数学オリンピック報告……………	39
中高部図書室報告……………	39
2021年度中学部入学試験結果報告……………	42
J1 デイキャンプ報告……………	44
J 新入生歓迎会挙行……………	44
S文化系クラブ発表会……………	45
2021年度 中高部体育祭……………	45
課外活動紹介……………	46
学院日誌……………	48

下記ページは個人情報保護等のため掲載しておりません。ご了承ください。

5, 11, 19, 29, 40, 42